

## 2017年度 自己点検・評価結果

### 基準4-1 教育内容・方法・成果

(教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

文学部・文学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.5.11 )		年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学科ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.5.11 )		年度初め
	4-1-2M	【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め
	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○	大学ホームページ「教育方針等」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/</a> 確認日:(2017.5.11)	文学部ホームページ、各学科ホームページ <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/literature/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/literature/</a> 確認日:(2017.5.11) 学科パンフレット	年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○	大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/japanese/policy.html#anchor_diplomapolicy">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/japanese/policy.html#anchor_diplomapolicy</a>  大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017.5.20)		年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○	大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/japanese/policy.html#anchor_diplomapolicy">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/japanese/policy.html#anchor_diplomapolicy</a>  大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017.5.20)		年度初め
	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:( 2017.5.11 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.5.11 )  【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.5.11 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.5.20 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.5.20 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体:博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等2017年度第2回フランス文 学科分科会(2017/5/10)2017年度第1回史学科 分科会(2017/04/19)比較芸術学科:分科会議事 録第2016年度第7回および比較芸術学科規約	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等2017年度第2回フランス文 学科分科会(2017/5/10)2017年度第1回史学科 分科会(2017/04/19)	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 第●回博士課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等2017年度第2回フランス文 学科分科会(2017/5/10)2017年度第1回史学科 分科会(2017/04/19)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」確認日:(2017.5.11)</p>		年度初め
	4-1-6M	<p>【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」確認日:(2017.6.4)</p>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」確認日:(2017.6.4)</p>		年度初め
	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」確認日:(2017.5.11)</p>		年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」確認日:(2017.6.4)</p>		年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」確認日:(2017.6.4)</p>		年度初め

教育人間科学部・教育人間科学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
教育人間科学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※)等が 明確なディプロマポリシーが学科ごとに設定されてい ますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、その達 成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※)等が 明確なディプロマポリシーが専攻および課程ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、その達 成のための諸要件	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※)等が 明確なディプロマポリシーが専攻および課程ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、その達 成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするため に、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え 方をまとめたカリキュラムポリシーが学科ごとに設定 されていますか(※2)。 ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの 活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ 形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	4-1-2M	【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするため に、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え 方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定 されていますか(※2)。 ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの 活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ 形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするため に、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え 方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定 されていますか(※2)。 ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの 活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ 形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017/06/03) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2016.05.07) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017.5.307)		年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017.5.30) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017/06/03) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017/06/03)  【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017.5.30) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017.5.30)  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017.5.30) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017.5.30)  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
教育人間科学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの内容 の適切性や相互の連関を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体:教授会	【学部】	年度初め
	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの内容 の適切性や相互の連関を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】	年度初め
	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの内容 の適切性や相互の連関を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体:博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会		年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの内容 の適切性や相互の連関は明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につながっ ていますか。	2017	×	【学部】 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの内容 の適切性や相互の連関は明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につながっ ていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの内容 の適切性や相互の連関は明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につながっ ていますか。	2017	×	【博士後期】 検証会議体:博士後期課程委員会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」	第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め
	4-1-6M	<p>【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」	第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」	第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」	第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め
	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」	第18回教育人間科学部教授会資料(2017年2月20日開催)	年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」	第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め

経済学部・経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(2)	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学科ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-1-2M	【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017/5/10) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:(2017/5/10)  【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(4)	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017/5/10) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017/5/10)  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017/5/10) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017/5/10)  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(5)	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)	年度初め
	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)	年度初め
	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体:博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)	年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○	従来から慣行に基づき柔軟な運用が行われており、それ が規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○	従来から慣行に基づき柔軟な運用が行われており、それ が規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○	従来から慣行に基づき柔軟な運用が行われており、それ が規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(6)	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点                      ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。                      ・現状や計画と大きな乖離がないか。                      ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。                      ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。                      ・ホームページ等で公表できる内容か。                      ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017/5/10確認</p>	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-1-6M	<p>【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点                      ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。                      ・現状や計画と大きな乖離がないか。                      ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。                      ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。                      ・ホームページ等で公表できる内容か。                      ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017/5/10確認</p>	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点                      ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。                      ・現状や計画と大きな乖離がないか。                      ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。                      ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。                      ・ホームページ等で公表できる内容か。                      ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017/5/10確認</p>	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点                      ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。                      ・現状や計画と大きな乖離がないか。                      ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。                      ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。                      ・ホームページ等で公表できる内容か。                      ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017/5/10確認</p>	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(7)	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点                      ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。                      ・現状や計画と大きな乖離がないか。                      ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。                      ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。                      ・ホームページ等で公表できる内容か。                      ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017/5/10確認</p>	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点                      ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。                      ・現状や計画と大きな乖離がないか。                      ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。                      ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。                      ・ホームページ等で公表できる内容か。                      ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017/5/10確認</p>	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め

法学部・法学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学科ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-1-2M	【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2018.04.01. )		年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017.04.01 )  【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html 確認日:( 2017.04.01. ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html 確認日:( 2017.04.01. )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体:博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 第●回博士課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	×	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
(6)	4-1-6M	<p>【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点            ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。            ・現状や計画と大きな乖離がないか。            ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。            ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。            ・ホームページ等で公表できる内容か。            ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点            ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。            ・現状や計画と大きな乖離がないか。            ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。            ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。            ・ホームページ等で公表できる内容か。            ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

経営学部・経営学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diplo&lt;br/&gt;ma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diplo ma.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diplo&lt;br/&gt;ma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diplo ma.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diplo&lt;br/&gt;ma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diplo ma.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学科ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-1-2M	【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○	2016年度第13回・第14回教授会議議事録・議事録等 検証会議体:教授会		年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○	【博士前期】 2016年度第11回・第12回研究科教授会議議事録・議事録等 検証会議体:研究科教授会		年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○	【博士後期】 2016年度第11回・第12回研究科教授会議議事録・議事録等 検証会議体:研究科教授会		年度初め
	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017年6月6日) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017年6月6日)  【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017年6月6日) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017年6月6日)  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017年6月6日) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:(2017年6月6日)  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部

評価基準： 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体:博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 第●回博士課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部

評価基準： 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
(6)	4-1-6M	<p>【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部

評価基準： 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

国際政治経済学部・国際政治経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」(3)-(7)頁 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【修士・博士前期】		年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学科ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」(3)-(7)頁 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-1-2M	【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度)266-270頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度)266-270頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」(1)-(3)頁 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度)266-270頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度)266-270頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」(1)-(3)頁 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度)266-270頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度)266-270頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等:2016年5月25日付 2016年度国際政治経済学部第3回教授会協議事 項2. 左記検証会議体からの委任先:主任会 手続:2016年6月8日付2016年度第4回国際政治 経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国 際政治経済学部・研究科主任会における自己点 検・評価の 検証事項に関する手続(案)」	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第3号 検証会議体: 研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等: 2016年5月25日付 2016年度国際政治経済学研究科第3回教授会協 議事項5. 左記検証会議体からの委任先: 主任会 手続: 2016年6月8日付2016年度第4回国際政治 経済学部・研究科主任会議議2.「青山学院大学国 際政治経済学部・研究科主任会における自己点 検・評価の 検証事項に関する手続(案)」	年度初め
	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体: 博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体: 博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 : ●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○		【学部】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任 会記録議2.「自己点検・評価の検証事項に関す る回答(案)」別添参考資料2	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○		【修士・博士前期】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任 会記録議2.「自己点検・評価の検証事項に関す る回答(案)」別添参考資料2	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体: 博士後期課程委員会  【一貫制博士】 第●回博士課程委員会議題・議事録等 検証会議体: 博士課程委員会 第●回研究科教授会議議題・議事録等 検証会議体: 研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-1-6U	【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。  ※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など	2017	○	【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」	【学部】 2017年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2	年度初め
	4-1-6M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。  ※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など	2017	○	【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」	【修士・博士前期】 2017年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>【博士後期・一貫制博士】 2017年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2</p>	年度初め
	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>【学部】 2017年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>【修士・博士前期】 2017年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2</p>	年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>【博士後期・一貫制博士】 2017年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2</p>	年度初め

総合文化政策学部・総合文化政策学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするた めに、教育内容、教育方法(※1)に関する基本 的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学 科ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、 ITの活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-1-2M	【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○		総合文化政策学部 2017年度授業要覧p1-2	年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○		2017年度大学院要覧p270	年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○		2017年度大学院要覧p270	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー が公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )  【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
(4)	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー が公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー が公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体:博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○	【学部】 第17回教授会議議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議事録等	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 第●回研究科教授会議議事録等 検証会議体:研究科教授会 (第17回学部教授会で修士課程の分も検証している)	【修士・博士前期】 委任先議事録等	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議事録等 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 第●回博士課程委員会議事録等 検証会議体:博士課程委員会 第●回研究科教授会議議事録等 検証会議体:研究科教授会 (第17回学部教授会で博士課程の分も検証している)	【博士後期・一貫制博士】 委任先議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
	4-1-6M	<p>【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>		年度初め

理工学部・理工学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:2017年5月15日	【学科】 下記の理工学部サイトから各学部のポリシーがリ ンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/science/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/science/</a> 確認日:2017年6月1日	年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:2017年6月1日	【修士・博士前期】 下記の理工学専攻サイトから各コースのポリシー がリンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_science/dse/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scie nce/dse/</a> 確認日:2017年6月1日	年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:2017年6月1日	【博士後期・一貫制博士】 下記の理工学専攻サイトから各コースのポリシー がリンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_science/dse/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scie nce/dse/</a> 確認日:2017年6月1日	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-1-2U	<p>【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学科ごとに設定されていますか(※2)。</p> <p>※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可</p>	2017	○	<p>【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日 2017年5月15日</p>	<p>【学科】 下記の理工学部サイトから各学部のポリシーがリンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/science/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/science/</a> 確認日:2017年6月1日</p>	年度初め
	4-1-2M	<p>【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。</p> <p>※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日 2017年5月15日</p>	<p>【修士・博士前期】 下記の理工学専攻サイトから各コースのポリシーがリンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scienc/e/dse/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scienc/e/dse/</a> 確認日:2017年6月1日</p>	年度初め
	4-1-2D	<p>【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。</p> <p>※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日 2017年5月15日</p>	<p>【博士後期・一貫制博士】 下記の理工学専攻サイトから各コースのポリシーがリンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scienc/e/dse/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scienc/e/dse/</a> 確認日:2017年6月1日</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○		物数: 学科会議議事録 2017/01/18 化生: 2016年9月14日、2016年11月30日 学科会議 議事録 電気: 平成28年9月14日、第11回 平成28年9月28 日、第15回 平成28年11月30日 機械: 第8回教室会議メモ2016/9/28, 第11回教室 会議メモ2016/11/9, 第12回教室会議メモ 2016/11/30 経シス: 学科会議議事録(第10回 2016年9月14日) 情テク: 学科会議議事録(2016.9.28)	年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○		基礎科学: コース会議議事録 20170217 化学: 2016年9月14日、2016年11月30日 コース会 議メモ 機能物質創成コース: 2017年5月17日 生命科学: コース会議議事録 2017年4月26日 メール会議議事録 2017年6月10日 電気: 第10回 平成28年9月14日、第11回 平成28 年9月28日、第15回 平成28年11月30日 機械: 第8回教室会議メモ2016/9/28 知能情報: 学科会議議事録(2016.9.28) マネテク: 学科会議議事録(第10回 2016年9月14 日)	年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○		基礎科学: コース会議議事録 20170217 化学: 2016年9月14日、2016年11月30日 コース会議メモ 機能物質創成コース: 2017年5月17日 生命科学: コース会議議事録 2017年4月26日 メール会議議事録 2017年6月10日 電気: 第10回 平成28年9月14日、第11回 平成28 年9月28日、第15回 平成28年11月30日 機械: 第8回教室会議メモ2016/9/28 知能情報: 学科会議議事録(2016.9.28) マネテク: 学科会議議事録(第10回 2016年9月14 日)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:2017年5月15日  大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:2017年5月15日  【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」(2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:2017年5月15日	【社会一般、受験生、教職員】 下記の理工学部サイトから各学部のポリシーがリ ンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/science/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/science/</a> 確認日:2017年6月1日  【学生】 「授業要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf&lt;br/&gt;/science_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf /science_2017.pdf</a> 確認日:2017年6月1日	年度初め
(4)	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:2017年5月15日  大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:2017年5月15日  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」(2017年 度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:2017年5月15日	【社会一般、受験生、教職員】 下記の理工学専攻サイトから各コースのポリシー がリンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scienc&lt;br/&gt;e/dse/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scienc e/dse/</a> 確認日:2017年6月1日  【学生】 「授業要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf&lt;br/&gt;/graduate_science_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf /graduate_science_2017.pdf</a> 確認日:2017年6月1日	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日: 2017年5月15日  大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日: 2017年5月15日  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」(2017年 度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日: 2017年5月15日	【社会一般、受験生、教職員】 下記の理工学専攻サイトから各コースのポリシー がリンク <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scienc&lt;br/&gt;e/dse/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_scienc e/dse/</a> 確認日: 2017年6月1日  【学生】 「授業要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf&lt;br/&gt;/graduate_science_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf /graduate_science_2017.pdf</a> 確認日: 2017年6月1日	年度初め
	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあた り、会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体: 教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付教授会承認 委任先: 学科会議	年度初め
	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあた り、会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第3号 検証会議体: 研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 委任先: コース会議	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体: 博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体: 博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 委任先: コース会議	年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○	【学部】 第9回教授会議議題・議事録等 検証会議体: 教授会 2017年9月27日	【学部】 委任先議題・議事録等 主任会議  学科会議 電気: 第15回 平成29年11月29日 機械創造: 第18回教室会議メモ2018/3/8 経シス: 学科会議議事録(第11回 2017年10月18 日) 情テク: 学科会議議事録 (2017/5/17,5/24,6/7,7/5,7/26,11/8)	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○		【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等 コース会議  化学: コース会議メモ 2017年6月20日 電気: 第15回 平成29年11月29日 機械創造: 第18回教室会議メモ2018/3/8 マネテク: 学科会議議事録(第11回 2017年10月18 日) 知能: コース会議議事録(2017/5/17,11/8)	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○		【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等 コース会議  化学: コース会議メモ 2017年6月20日 電気: 第15回 平成29年11月29日 機械創造: 第18回教室会議メモ2018/3/8 マネテク: 学科会議議事録(第11回 2017年10月18 日) 知能: コース会議議事録(2017/5/17,11/8)	年度末

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>物数: 学科会議議事録 2017/01/18                      化生: 2016年9月14日、2016年11月30日学科会議議事録                      電気: 第10回 平成28年9月14日 報告事項、第11回 平成28年9月28日、第15回 平成28年11月30日                      機械: 第8回教室会議メモ2016/9/28, 第12回教室会議メモ2016/11/30                      経シス: 学科会議議事録(第10回 2016年9月14日)                      情テク: 学科会議議事録(2017/9/28)</p>	年度初め
	4-1-6M	<p>【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>基礎科学: コース会議議事録 20170217                      化学: 2016年9月14日、2016年11月30日コース会議メモ                      機能物質: ○ 2017年5月17日                      生命科学: コース会議議事録 2017年4月26日                      メール会議議事録 2017年6月10日                      電気: 第10回 平成28年9月14日、第11回 平成28年9月28日、第15回 平成28年11月30日                      機械: 第8回教室会議メモ2016/9/28                      知能情報: コース会議議事録(2017/9/28)                      経シス: 学科会議議事録(第10回 2016年9月14日)</p>	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	×	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>基礎科学:コース会議議事録 20170217 化学:2016年9月14日、2016年11月30日コース会議メモ 機能物質:○ 2017年5月17日 生命科学:× 電気:第10回 平成28年9月14日、第11回 平成28年9月28日、第15回 平成28年11月30日 機械:第8回教室会議メモ2016/9/28 知能情報:コース会議議事録(2017/9/28) 経シス:学科会議議事録(第10回 2016年9月14日)</p>	年度初め
	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>物数:学科会議議事録 2017/01/18 化生:2016年9月28日学科会議議事録 電気:第10回 平成28年9月14日、第11回 平成28年9月28日、第15回 平成28年11月30日 機械:第8回教室会議メモ2016/9/28、第12回教室会議メモ2016/11/30 経シス:学科会議議事録(第10回 2016年9月14日) 情テク:学科会議議事録(2017/9/28)</p>	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>基礎科学:コース会議議事録 20170217 化学:2016年9月28日コース会議メモ 機能物質:○ 2017年5月17日 生命科学:コース会議議事録 2017年4月26日 メール会議議事録 2017年6月10日 電気:第10回 平成28年9月14日、第11回 平成28年9月28日、第15回 平成28年11月30日 機械:第8回教室会議メモ2016/9/28 知能情報:コース会議議事録(2017/9/28) 経シス:学科会議議事録(第10回 2016年9月14日)</p>	年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>基礎科学:コース会議議事録 20170217 化学:2016年9月28日コース会議メモ 機能物質:○ 2017年5月17日 生命科学:コース会議議事録 2017年4月26日 メール会議議事録 2017年6月10日 電気:第10回 平成28年9月14日、第11回 平成28年9月28日、第15回 平成28年11月30日 機械:第8回教室会議メモ2016/9/28 知能情報:コース会議議事録(2017/9/28) 経シス:学科会議議事録(第10回 2016年9月14日)</p>	年度初め

社会情報学部・社会情報学研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
社会情報学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017/04/13 )		年度初め
	4-1-1M	【修士・博士前期】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.6.4 )		年度初め
	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
社会情報学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学科ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/ssi/dsi/policy.html#anchor_curriculumpolicy">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/ssi/dsi/policy.html#anchor_curriculumpolicy</a> 確認日:( 2017/04/20)		年度初め
	4-1-2M	【修士・博士前期】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め
	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
社会情報学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○		<a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/ssi/dsi/policy.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/ssi/dsi/policy.html</a> 確認日:(2017/04/13)	年度初め
	4-1-3M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○		<a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_ssi/dsi/policy.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_ssi/dsi/policy.html</a>	年度初め
	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○		<a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_ssi/dsi/policy.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_ssi/dsi/policy.html</a>	年度初め
	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:( 2017/04/14 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 2017/04/14 )  【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 確認日:( 2017/04/14 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017/04/14 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
社会情報学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-1-4M	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー が公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.4.29 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め
	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー が公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017.6.4 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017.6.4 )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.6.4 )		年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
社会情報学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第2号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5M1	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号および第2号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体:博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○	【学部】 第7回教授会議題・議事録等 第11回教授会議題・議事録等 第20回教授会議題・議事録等 FD研修会 検証会議体:教授会、FD委員会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5M2	【修士・博士前期】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 第7回教授会議題・議事録等 第11回教授会議題・議事録等 第20回教授会議題・議事録等 FD研修会 検証会議体:教授会、FD委員会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○		【博士後期・一貫制博士】 第7回教授会議題・議事録等 第11回教授会議題・議事録等 第20回教授会議題・議事録等 FD研修会 検証会議体:教授会、FD委員会	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	第13回 教授会議議題(2016.11.30)	年度初め
(6)	4-1-6M	<p>【修士・博士前期】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_ssi/dsi/policy.html#anchor_diplomapolicy_zenki">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_ssi/dsi/policy.html#anchor_diplomapolicy_zenki</a>	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
社会情報学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p><a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_ssi/dsi/policy.html#anchor_diplomapolicy_kouki">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_ssi/dsi/policy.html#anchor_diplomapolicy_kouki</a></p>	年度初め
	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>・教務委員会(2016年度は13回開催)にて検討。 検討した結果を教授会にて承認。 ・3ポリシーについて第13回 教授会議題(2016.11.30)にて審議、決定</p>	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
社会情報学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7M	<p>【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>・3ポリシーについて第13回 学部教授会議議題(2016.11.30)にて審議、決定</p>	年度初め
	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>・3ポリシーについて第13回 学部教授会議議題(2016.11.30)にて審議、決定</p>	年度初め

地球社会共生学部

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1U	【学部】 「教育研究上の目的」を踏まえた卒業要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが学科ごとに設 定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【学部】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017/04/18) 学部パンフレット(2016年度) 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/ 確認日:(2017/04/18)</a> 学部ホームページ <a href="http://www.gsc.aoyama.ac.jp/introduction/policy/">http://www.gsc.aoyama.ac.jp/introduction/policy/ 確認日:(2017/04/18)</a>		年度初め
(2)	4-1-2U	【学部】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするた めに、教育内容、教育方法(※1)に関する基本 的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが学 科ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、 ITの活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【学部】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:(2017/05/02)	第13回教授会(2016年11月30日)にて承認。	年度初め
(3)	4-1-3U	【学部】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相 互に関連した内容になっていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/ 確認日:(2017/05/02)</a> 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017/05/02) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 学部ホームページ <a href="http://www.gsc.aoyama.ac.jp/introduction/policy/">http://www.gsc.aoyama.ac.jp/introduction/policy/ 学部パンフレット(2016年度)</a>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-1-4U	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー が公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017/04/18) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/&lt;br/&gt;curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:(2017/04/18) 学部パンフレット(2016年度) 【学生】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/04/18)		年度初め
(5)	4-1-5U1	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシ ーの内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号および第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年4月20日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(主任会)	年度初め
	4-1-5U2	【学部】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシ ーの内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○	【学部】 第3回教授会議議・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等 第3回主任会(2017年5月24日) 「地球社会共生学部自己点検評価に関する主任 会の検証事項と検証手続きについて」	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-1-6U	<p>【学部】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>大学HP地球社会共生学部「3つのポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/gsc/dg/policy.html#anchor_curriculumpolicy">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/gsc/dg/policy.html#anchor_curriculumpolicy</a> 確認日:(2017/04/18) 学部パンフレット(2016年度) 学部HP</p>	年度初め
(7)	4-1-7U	<p>【学部】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>大学HP地球社会共生学部「3つのポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/gsc/dg/policy.html#anchor_curriculumpolicy">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/gsc/dg/policy.html#anchor_curriculumpolicy</a> 確認日:(2017/04/18) 地球社会共生学部設置届け出書(平成26年4月24日)</p>	年度初め

国際マネジメント研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	2017年度研究科授業要覧 PhD/DBA Progra,s 「目指すべき人材像、ディプロマポリシー、カリキュ ラムポリシー策定資料」(大学提出資料)	年度初め
	4-1-1P	【専門職】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	2017年度研究科授業要覧 MBA Programs 「目指すべき人材像、ディプロマポリシー、カリキュ ラムポリシー策定資料」(大学提出資料)	年度初め
(2)	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするた めに、教育内容、教育方法(※1)に関する基本 的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専 攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、 ITの活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	2017年度研究科授業要覧 PhD/DBA Programs 「目指すべき人材像、ディプロマポリシー、カリキュ ラムポリシー策定資料」(大学提出資料)	年度初め
	4-1-2P	【専門職】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするた めに、教育内容、教育方法(※1)に関する基本 的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが設 定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、 ITの活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	2017年度研究科授業要覧 MBA Programs 「目指すべき人材像、ディプロマポリシー、カリキュ ラムポリシー策定資料」(大学提出資料)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○		【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度初め
	4-1-3P	【専門職】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に関連した内容になっていますか。	2017	○		【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度初め
(4)	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017/5/31 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017/5/31 )	大学ホームページ <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_abs/m&lt;br/&gt;anagement-seicne/policy_html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_abs/m anagement-seicne/policy_html</a> .  【学生】 学生ポータル「授業要覧」 <a href="http://portalsanshou2014.jm.aoyama.ac.jp/AGUInf&lt;br/&gt;o/web_a_senmonshoku/youran/hyoushi.htm">http://portalsanshou2014.jm.aoyama.ac.jp/AGUInf o/web_a_senmonshoku/youran/hyoushi.htm</a>	年度初め
	4-1-4P	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーが 公的な刊行物、ホームページ等によって、教職 員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対し て周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:( 2017/5/31 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	大学ホームページ <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_abs/m&lt;br/&gt;anagement/policy_html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_abs/m anagement/policy_html</a> . 研究科ホームページ「ディプロマポリシー・カリ キュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyamabs.value/admissionpolicy/html">http://www.aoyamabs.value/admissionpolicy/html</a> .	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体: 博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体: 博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 : 2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 : (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度初め
	4-1-5P1	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、 会議体(委員会等)・手続きが明文化されて いますか。	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第2号および第3号 検証会議体: 研究科教授会	【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 : 2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 : (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度初め
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○	【博士後期】 第3回研究科教授会議議事録等 検証会議体: 博士後期課程委員会	【博士後期・一貫制博士】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 : 2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 : (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度末
	4-1-5P2	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの 内容の適切性や相互の連関は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。	2017	○	【専門職】 2018年度第3回国際マネジメント教授会議事録	【専門職】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 : 2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 : (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017年度第3回研究科教授会議議事録・議事録等 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p>	年度初め
	4-1-6P	<p>【専門職】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【専門職】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017年度第3回研究科教授会議議事録等 検証会議体:研究科教授会</p>	<p>【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p>	年度初め
	4-1-7P	<p>【専門職】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【専門職】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)</p>	年度初め

# 法務研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1P	【専門職】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:( 6/5 )		年度初め
(2)	4-1-2P	【専門職】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするた めに、教育内容、教育方法(※1)に関する基本 的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが設 定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、 ITの活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 6/5 )		年度初め
(3)	4-1-3P	【専門職】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相 互に関連した内容になっていますか。	2017	○		青山学院大学大学院法務研究科主任会規程	年度初め
(4)	4-1-4P	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシ ーが公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:( 6/5 ) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html</a> 確認日:( 6/5 )	法科大学院要覧(2017年度)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5P1	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第2号および第3号 検証会議体: 研究科教授会	【専門職】 青山学院大学大学院法務研究科主任会規程 左記検証会議体からの委任先:( 法務研究科主 任会 )	年度初め
	4-1-5P2	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○			年度末
(6)	4-1-6P	【専門職】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。  ※適切な視点 ・相互に連関が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社 会、文部科学省、大学基準協会等)の要請に あっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすい か。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリ シー修正マニュアル参照)の内容に則ったもの か。 など  適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自 己点検・評価委員会へ報告してください。	2017	○	【専門職】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マ ニュアル」	青山学院大学大学院法務研究科主任会規程 法務研究科講義内容(シラバス)(2017年度)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部専門職大学院教務課

評価基準： 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7P	<p>【専門職】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【専門職】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」</p>	<p>青山学院大学大学院法務研究科主任会規程 検証会議体( 法務研究科主任会 )</p>	年度初め

会計プロフェッション研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1D	【博士後期・一貫制博士】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 「2017年度大学院要覧」26ページ		年度初め
	4-1-1P	【専門職】 「教育研究上の目的」を踏まえた修了要件(※) 等が明確なディプロマポリシーが専攻および課 程ごとに設定されていますか。  ※課程修了にあたって修得すべき学習成果、そ の達成のための諸要件	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」6ページ 「研究科案内2016」2ページ		年度初め
(2)	4-1-2D	【博士後期・一貫制博士】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするた めに、教育内容、教育方法(※1)に関する基本 的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが専 攻ごとに設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、 ITの活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 「2017年度大学院要覧」26ページ		年度初め
	4-1-2P	【専門職】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするた めに、教育内容、教育方法(※1)に関する基本 的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが設 定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、 ITの活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」6ページ 「研究科案内2016」2ページ		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-1-3D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○	2016年度第19回研究科教授会協議事項5、2017年度第3 回研究科教授会協議事項4～6		年度初め
	4-1-3P	【専門職】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互 に連関した内容になっていますか。	2017	○	2016年度第19回研究科教授会協議事項5、2017年度第3 回研究科教授会協議事項4～6		年度初め
(4)	4-1-4D	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシ ーが公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】  【学生】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.h tml</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」26ページ		年度初め
	4-1-4P	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシ ーが公的な刊行物、ホームページ等によって、教 職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対 して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ diploma.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 大学ホームページ「カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/curriculum.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/ curriculum.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」6ページ 「研究科案内2016」2ページ		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5D1	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシー の内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第73条第1項第2号および第4号 検証会議体:博士課程委員会 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会		年度初め
	4-1-5P1	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシ ーの内容の適切性や相互の連関を検証するにあ たり、会議体(委員会等)・手続きが明文化され ていますか。	2017	○	【専門職】 青山学院大学専門職大学院学則第56条第1項第2号およ び第3号 検証会議体:研究科教授会		年度初め
	4-1-5D2	【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシ ーの内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○	【博士後期】 青山学院大学大学院学則第73条第1項第2号および第3 号 2017年度第9回博士後期課程委員会協議事項2、2017年 度第10回博士後期課程委員会協議事項1、2017年度第11 回博士後期課程委員会協議事項2 検証会議体:博士後期課程委員会	【博士後期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-1-5P2	【専門職】 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシ ーの内容の適切性や相互の連関は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。	2017	○	【専門職】 2017年度第12回研究科教授会協議事項6、2017年度第14 回研究科教授会協議事項8、 検証会議体:研究科教授会	【専門職】 委任先議題・議事録等	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-1-6D	<p>【博士後期・一貫制博士】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	×	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017年度第3回研究科教授会協議事項4～6</p>		年度初め
	4-1-6P	<p>【専門職】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【専門職】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017年度第3回研究科教授会協議事項4～6</p>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7D	<p>【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	×	<p>【博士後期・一貫制博士】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017年度第3回研究科教授会協議事項4～6</p>		年度初め
	4-1-7P	<p>【専門職】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【専門職】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 2017年度第3回研究科教授会協議事項4～6</p>		年度初め

青山スタンダード教育機構

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 青山スタンダード教育機構

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-1-1A	【青スタ】 必要単位の修得にあたって獲得すべき学習成果、その達成のための諸要件等が明確なディプロマポリシーが設定されていますか。	2017	○	【青スタ】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017/5/17)	【青スタ】 大学ホームページ「教育研究上の目的・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html</a> 確認日:(2017/5/17) 大学ホームページ「青山スタンダード科目の特長(含主要科目の特長)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/curriculum/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/curriculum/</a> 確認日:(2017/5/17)	年度初め
(2)	4-1-2A	【青スタ】 学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法(※1)に関する基本的な考え方をまとめたカリキュラムポリシーが設定されていますか(※2)。  ※1グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態 ※2単なるカリキュラムの現状説明は不可	2017	○	【青スタ】 大学ホームページ「教育研究上の目的・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html</a> 確認日:(2017/5/17)		年度初め
(3)	4-1-3A	【青スタ】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは相互に関連した内容になっていますか。	2017	○		【青スタ】 大学ホームページ「青山スタンダード科目の特長(含主要科目の特長)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/curriculum/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/curriculum/</a> 確認日:(2017/5/17) 大学ホームページ「教育研究上の目的・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html</a> 確認日:(2017/5/17)	年度初め
(4)	4-1-4A	【青スタ】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーが公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して周知・公表されていますか。	2017	○	【社会一般、受験生、教職員】 大学ホームページ「ディプロマポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/information/education/diploma.html</a> 確認日:(2017/5/17) 大学ホームページ「教育研究上の目的・カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html</a> 確認日:(2017/5/17)	【青スタ】 大学ホームページ「教育研究上の目的・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html</a> 確認日:(2017/5/17)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 青山スタンダード教育機構

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-1-5A1	【青スタ】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの内容の適切性や相互の連関を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○		【青スタ】 関連規則等「青山スタンダード教育機構役員会教育評価委員会内規」  検証会議体(教育評価委員会、青山スタンダード教育機構会議)	年度初め
	4-1-5A2	【青スタ】 ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの内容の適切性や相互の連関は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○		【青スタ】 関連規則等「青山スタンダード教育機構規則」  検証会議体(青山スタンダード教育機構会議)	年度末
(6)	4-1-6A	【青スタ】 ディプロマポリシーは適切ですか(※)。  ※適切な視点 ・相互に連関が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など  適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。	2017	○	【青スタ】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 確認日:(2017/5/17)	【青スタ】 大学ホームページ「教育研究上の目的・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/objective.html</a> 確認日:(2017/5/17)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 青山スタンダード教育機構

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-1(教育内容・方法・成果\_\_教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-1-7A	<p>【青スタ】 カリキュラムポリシーは適切ですか(※)。</p> <p>※適切な視点 ・相互に関連が必要な方針と整合性はあるか。 ・現状や計画と大きな乖離がないか。 ・時代やステークホルダー(学生、受験生、社会、文部科学省、大学基準協会等)の要請にあっているか。 ・自己点検・評価(チェックリスト)を行いやすいか。 ・ホームページ等で公表できる内容か。 ・3ポリシー策定に関する基本的な考え方(3ポリシー修正マニュアル参照)の内容に則ったものか。 など</p> <p>適切でない場合は改定版を作成のうえ、全学自己点検・評価委員会へ報告してください。</p>	2017	○	<p>【青スタ】 教職員ポータル(全学自己点検・評価委員会)「3ポリシー修正マニュアル」 確認日:(2017/5/17)</p>	<p>【青スタ】 青山スタンダード科目履修ガイド VOL.9 (2016年度版)</p>	年度初め

2017年度 自己点検・評価結果

基準4-2 教育内容・方法・成果

(教育課程・教育内容)

文学部・文学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.5.11 )		年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-2-2U	【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大学院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.5.11 ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱		年度初め
	4-2-2M	【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.5.20 ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱		年度初め
	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.5.20 ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.20)		年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	×	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.4.19)		年度初め
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」(2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017.5.11)	学科パンフレット2017	年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		文学研究科ホームページ <a href="http://aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature">aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature</a> 確認日:(2017.6.4)	年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		文学研究科ホームページ <a href="http://aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature">aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature</a> 確認日:(2017.6.4)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:  【一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等2017年度第5回史学科分 科会(2018/06/21)	年度末

教育人間科学部・教育人間科学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
教育人間科学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学設置 基準第19条第2項に基づいて編成されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設 置基準第11条第2項に基づいて編成されています か。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設 置基準第11条第2項に基づいて編成されています か。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
(2)	4-2-2U	【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大学 院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している場合 (※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の 質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/06/03) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する 要綱		年度初め
	4-2-2M	【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学 院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価 を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工 夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する 要綱		年度初め
	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学 院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価 を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工 夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する 要綱		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	×	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日(2017/06/03)		年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> (2017.5.30)		年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> (2017.5.30)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
教育人間科学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに従って 定期的に検証され、その結果は改善につながって いますか。	2017	×	【学部】 検証会議体:教授会	【学部】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人 間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度末
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに従って 定期的に検証され、その結果は改善につながって いますか。	2017	×	【修士・博士前期】 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人 間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに従って 定期的に検証され、その結果は改善につながって いますか。	2017	○	【博士後期】 2017年度第13回教育学人間科学研究科教授会(2018年1月17 日)議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 2017年度第13回教育学人間科学研究科教授会(2018 年1月17日)資料	年度末

経済学部・経済学研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
(2)	4-2-2U	【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大 学院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している 場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの 教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上 「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/5/10) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に 関する要綱	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-2-2M	【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職 大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、 成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質 を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上 「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2017/5/10) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に 関する要綱	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め
	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職 大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、 成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質 を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上 「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2017/5/10) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に 関する要綱	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議 事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (17年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	大学授業要覧 2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	大学院要覧 2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	大学院要覧 2017/5/10確認	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会)	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	従来から慣行に基づき柔軟な運用がなされており、それ が規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	従来から慣行に基づき柔軟な運用がなされており、それ が規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	従来から慣行に基づき柔軟な運用がなされており、それ が規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末

法学部・法学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/ 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-2-2U	<p>【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大学院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。</p> <p>※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱</p>		年度初め
	4-2-2M	<p>【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。</p> <p>※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱</p>		年度初め
	4-2-2D	<p>【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。</p> <p>※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱</p>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	×	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( )		年度初め
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:  【一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

経営学部・経営学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(2)	4-2-2U	【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大学院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年6月6日) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱		年度初め
	4-2-2M	【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱		年度初め
	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	×	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a>		年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a>		年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
経営学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:  【一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

国際政治経済学部・国際政治経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	×	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( )年度 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-2-2U	【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大学院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 シラバス		年度初め
	4-2-2M	【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【修士・博士前期】 シラバス		年度初め
	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○			年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」97-98頁 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	×	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( )年度 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( )		年度初め
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等:2016年5月25日付 2016年度国際政治経済学部第3回教授会協議事項2. 左記検証会議体からの委任先:主任会 手続:2016年6月8日付2016年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国際政治経済学部・研究科主任会における自己点検・評価の検証事項に関する手続(案)」	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等:2016年5月25日付 2016年度国際政治経済学研究科第3回教授会協議事項5. 左記検証会議体からの委任先:主任会 手続:2016年6月8日付2016年度第4回国際政治経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国際政治経済学部・研究科主任会における自己点検・評価の検証事項に関する手続(案)」	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○		【学部】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関する回答(案)」別添参考資料2	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○		【修士・博士前期】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任 会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関す る回答(案)」別添参考資料2	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:  【一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

総合文化政策学部・総合文化政策学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017年4月20日 )	授業要覧 総合文化政策学部 2017年度p1	年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(2)	4-2-2U	【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大学院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017年4月20日 ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱	「社会調査士」関係の授業を実施している。	年度初め
	4-2-2M	【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱  ・国際マネジメント研究科と総合文化政策学研究科との共通開講科目についての覚書	・「社会調査士」関係の授業を実施している。 ・国際マネジメント研究科との共通開講科目を実施している。	年度初め
	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱  ・国際マネジメント研究科と総合文化政策学研究科との共通開講科目についての覚書	・「社会調査士」関係の授業を実施している。 ・国際マネジメント研究科との共通開講科目を実施している。	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017年4月20日 )		年度初め
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		学生ポータルで科目ナンバリングを公開している	年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		大学院要覧に「履修基本モデル」を記載している	年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		大学院要覧に「履修基本モデル」を記載している	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【学部】 第17回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会 (第17回学部教授会にてまとめて検証している)	【修士・博士前期】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:  【一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会 (第17回学部教授会にてまとめて検証している)	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

理工学部・理工学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日 2017年5月15日		年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日 2017年5月15日		年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日: 2017年5月15日		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-2-2U	【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大学院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日  青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱	物数:実施していない 2017/04/19 化生:× 実施していない 2017/05/15 電気:実施していない 機械:第17回教室会議メモ2017/2/27 経シス:学科会議議事録(第6回 2016年6月22日)	年度初め
	4-2-2M	【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	×	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日  青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱	基礎科学: × 2017/04/19 化学:× 実施していない 2017/05/15 電気:実施していない 機械:第17回教室会議メモ2017/2/27 経シス:学科会議議事録(第6回 2016年6月22日) 基礎科学:実施していない 機能物質創成コース:○ 生命科学:実施していない	年度初め
	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日  青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱	基礎科学:2017/04/19 化学:実施していない 2017/05/15 機械:第17回教室会議メモ2017/2/27 経シス:学科会議議事録(第6回 2016年6月22日) 基礎科学:実施していない 機能物質創成コース:○ 生命科学:実施していない	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日	基礎科学:確認日2017/04/19 化学:確認日2017/05/15 (以下, ×の確認日とみなす) 基礎科学:コース会議議事録 20170217 化学:2016年10月19日コース会議メモ 2017/05/15(以下, ×の確認日とみなす) 機能物質創成コース:○(具体的な根拠なし) 生命科学:コース会議議事録 2017年4月26日 メール会議議事録 2017年6月10日 電気:第5回 平成28年6月8日、第10回 平成28年9月14日、第15回 平成28年11月30日 機械創造: マネテク:学科会議議事録(第14回 2016年11月9日) 経シス:学科会議議事録(第14回 2016年11月9日)	年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	×	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日	基礎科学:2017/04/19 基礎科学:コース会議議事録 2017/02/17 化学:2017/05/15 2016年10月19日コース会議メモ 機能物質創成コース:○(具体的な根拠なし) 生命科学:コース会議議事録 2017年4月26日 メール会議議事録 2017年6月10日 電気:第5回 平成28年6月8日、第10回 平成28年9月14日、第15回 平成28年11月30日 機械創造: 知能情報: マネテク:学科会議議事録(第14回 2016年11月9日)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		2017年度授業要覧 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a>  電気: 第5回 平成28年6月8日、第10回 平成28年9月14日、第15回 平成28年11月30日 機械: 第1回教室会議メモ2016/4/20 経シス: ×	年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日 2017年5月29日	2017年度大学院要覧 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a>  基礎科学: 2017/04/19 化学: 2017/05/15 電気: 第5回 平成28年6月8日、第10回 平成28年9月14日、第15回 平成28年11月30日 機械: 第5回教室会議メモ2016/6/22 経シス: × 機能物質創成コース: コース会議に付議し確認した。2017年5月17日 生命科学: ×	年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日 2017年5月29日	2017年度大学院要覧 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a>  基礎科学: 2017/04/19 化学: 2017/05/15 電気: 第5回 平成28年6月8日、第10回 平成28年9月14日、第15回 平成28年11月30日 機械: 第5回教室会議メモ2016/6/22 経シス: × 機能物質創成コース: コース会議に付議し確認した。2017年5月17日 生命科学: ×	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先:学科会議	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先:コース会議	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 左記検証会議体からの委任先:コース会議	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【学部】 第10回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会 2017年10月18日	【学部】 物数:× 化生:× 電気:第4回 平成29年5月18日、第10回 平成29年 7月27日、第11回 平成28年9月13日、第13回 平 成29年10月18日、第14回 平成28年11月8日、第 15回 平成29年11月30日、第16回 平成29年12月 18日 機械創造:第3回教室会議メモ2017/5/17、第4回 教室会議メモ2017/6/7 経シス:学科会議議事録(第10回 2017年9月27日) 情テク:学科会議議事録(2017/5/17, 5/24, 6/7, 6/21, 7/5, 7/26, 11/8)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】 第12回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会 2017年11月8日	【修士・博士前期】 基礎科学: × 化学:コース会議メモ 2017年6月20日 機能物質:会議第6回議事録 2018.2.23/議事録メ モ 生命科学: × 電気:第4回 平成29年5月18日、第10回 平成29年 7月27日、第11回 平成28年9月13日、第13回 平 成29年10月18日、第14回 平成28年11月8日、第 15回 平成29年11月30日、第16回 平成29年12月 18日 機械創造:第9回教室会議メモ2017/9/13、第13回 教室会議メモ2017/11/8 経シス:学科会議議事録(第10回 2017年9月27日) 知能:コース会議議事録(2017/5/17,11/8)	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	×	【博士後期】 第12回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会 2017年11月8日	【博士後期・一貫制博士】 基礎科学: × 化学:コース会議メモ 2017年6月20日 機能物質: × 生命科学: × 電気:第4回 平成29年5月18日、第10回 平成29年 7月27日、第11回 平成28年9月13日、第13回 平 成29年10月18日、第14回 平成28年11月8日、第 15回 平成29年11月30日、第16回 平成29年12月 18日 機械創造:第9回教室会議メモ2017/9/13、第13回 教室会議メモ2017/11/8 経シス:学科会議議事録(第10回 2017年9月27日) 知能:コース会議議事録(2017/5/17,11/8)  2018年度入学生よりコースワーク開講	年度末

社会情報学部・社会情報学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017.5.15)	教育の特色 カリキュラム <a href="http://www.si.aoyama.ac.jp/curriculum/index">http://www.si.aoyama.ac.jp/curriculum/index</a> 確認日:(2017.5.15) カ リキュラム <a href="http://www.si.aoyama.ac.jp/pdf/2017-ssi.pdf">http://www.si.aoyama.ac.jp/pdf/2017-ssi.pdf</a> 確認日:(2017.5.29) 学部の特色 学びの特色 <a href="http://www.si.aoyama.ac.jp/faculty/index">http://www.si.aoyama.ac.jp/faculty/index</a> 確 認日:(2017.5.29) 青 山学院大学社会情報学部へようこそ!(2017年1 月) 確認日:(2017.5.29)	年度初め
	4-2-1M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2017.4.29)		年度初め
	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2017.4.29)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-2-2U	<p>【学部】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学⇔専門職大学院、短大⇔大学等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。</p> <p>※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。</p>	2017	○	<p>【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017.4.15) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱(大学第3編学事第1章教務第3節学務) 確認日:(2017.5.29)</p>		年度初め
	4-2-2M	<p>【修士・博士前期】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。</p> <p>※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。</p>	2017	○	<p>【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.4.29) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱</p>		年度初め
	4-2-2D	<p>【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。</p> <p>※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。</p>	2017	○	<p>【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.4.29) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱</p>		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-2-3M	【修士・博士前期】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め
	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め
(4)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.5.15 )	教育の特色 <u>カリキュラム</u> <a href="http://www.si.aoyama.ac.jp/curriculum/index">http://www.si.aoyama.ac.jp/curriculum/index</a> 確認日:( 2017.5.15 ) <u>カ</u> <u>リキュラム</u> <a href="http://www.si.aoyama.ac.jp/pdf/2017-ssi.pdf">http://www.si.aoyama.ac.jp/pdf/2017-ssi.pdf</a> 確認日:( 2017.5.29 ) 学部の特色 <u>学びの特色</u> <a href="http://www.si.aoyama.ac.jp/faculty/index">http://www.si.aoyama.ac.jp/faculty/index</a> 確 認日:( 2017.5.29 ) <u>青</u> 山学院大学社会情報学部へようこそ!(2017年1 月) 確認日:( 2017.5.29 )	年度初め
	4-2-5M	【修士・博士前期】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		<a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/daigakuin_youran(shakaijouhou)2017.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/daigakuin_youran(shakaijouhou)2017.pdf</a>	年度初め
	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		<a href="https://jimweb.im.aoyama.ac.jp/kyoumu/daigakuin_youran(shakaijouhou)2017.pdf">https://jimweb.im.aoyama.ac.jp/kyoumu/daigakuin_youran(shakaijouhou)2017.pdf</a>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 ①関連規則等:2017年度社会情報学部・社会情 報学研究科諸委員一覧、検証会議体:教務委員 会、 ②社会情報学部/社会情報学研究科報告事項 教員組織の編成方針(2015年6月24日教授会資 料5-6)、検証会議体:合宿形式によるFD研究会: (2017年3月12~13日)	年度初め
	4-2-6M1	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【修士・博士前期】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体:研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【学部】 第17回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 合宿形式によるFD研究会(2018年3月15~16日) 議事録	年度末
	4-2-6M2	【修士・博士前期】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 第17回教授会議題・議事録等 検証会議体:学部教授会	【修士・博士前期】 学部教授会	年度末
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【博士後期】 第17回教授会議題・議事録等 検証会議体:学部教授会	【博士後期・一貫制博士】 学部教授会	年度末

地球社会共生学部

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(1)	4-2-1U	【学部】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/04/18)		年度初め
(2)	4-2-2U	【学部】 異なる教育機関(大学⇄大学院、大学⇄専門職 大学院、短大⇄大学等)と合同授業を実施してい る場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞ れの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上 「○」とし、備考欄にその旨記載してください。地 球はこの場合に当てはまる	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( ) 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に 関する要綱		年度初め
(3)	4-2-5U	【学部】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教 育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に 明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的 な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/04/18)		年度初め
(4)	4-2-6U1	【学部】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年4月20日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(教務委員会)	年度初め
	4-2-6U2	【学部】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【学部】 第3回教授会議議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等 第3回教務委員会 「2017年度自己点検・評価検証作業について」 (2017/06/14)	年度末

国際マネジメント研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017/5/31 )	研究科2017年度授業要覧 PhD/DBA Programs 「目指すべき人材像、ディプロマポリシー、カリキュ ラムポリシー策定資料」(大学提出資料)	年度初め
	4-2-1P	【専門職】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○		研究科2017年度授業要覧 MBA Program.s 「目指すべき人材像、ディプロマポリシー、カリキュ ラムポリシー策定資料」(大学提出資料)	年度初め
(2)	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職 大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、 成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質 を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上 「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017/5/31 ) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に 関する要綱	【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度初め
	4-2-2P	【専門職】 異なる教育機関(大学院⇔専門職大学院、大学⇔ 専門職大学院等)と合同授業を実施している場 合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの 教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上 「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【専門職】 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に 関する要綱	【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	研究科2017年度授業要覧 PdD/DBA Programs 「目指すべき人材像、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー策定資料」(大学提出資料)	年度初め
(4)	4-2-4P	【専門職】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび専門職大学院設置基準第6条に基づき、理論教育と実務教育を適切に組み合わせたものとなっていますか。	2017	○		研究科2017年度授業要覧 MBA Programs 「目指すべき人材像、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー策定資料」(大学提出資料)	年度初め
(5)	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		研究科2017年度授業要覧 PhD/DBA Programs	年度初め
(5)	4-2-5P	【専門職】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		研究科2017年度授業要覧 MBA Programs	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体: 博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会	【博士後期・一貫制博士】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 : 2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 : (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)	年度初め
	4-2-6P1	【専門職】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会	【専門職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 : 2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 : (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)	年度初め
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【一貫制博士】 第3回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体: 研究科教授会	【一貫制博士】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 : 2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 : (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)	年度末
	4-2-6P2	【専門職】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【専門職】 第3回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体: 研究科教授会	【専門職】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 : 2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 : (国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)	年度末

# 法務研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課  
 評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1P	【専門職】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 院設置基準第11条第2項に基づいて編成されて いますか。	2017	○		法科大学院要覧(2017年度) 法務研究科講義内容(シラバス)(2017年度)	年度初め
(2)	4-2-2P	【専門職】 異なる教育機関(大学院⇔専門職大学院、大学⇔ 専門職大学院等)と合同授業を実施している場 合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの 教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上 「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【専門職】 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に 関する要綱		年度初め
(3)	4-2-4P	【専門職】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび専門 職大学院設置基準第6条に基づき、理論教育と 実務教育を適切に組み合わせたものとなって いますか。	2017	○		法務研究科講義内容(シラバス)(2017年度)	年度初め
(4)	4-2-5P	【専門職】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教 育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に 明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的 な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		法務研究科ホームページ カリキュラム <a href="http://www.law.aoyama.ac.jp/curriculum/index.html">http://www.law.aoyama.ac.jp/curriculum/index.html</a> 法科大学院要覧(2017年度) 法務研究科講義内容(シラバス)(2017年度)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-2-6P1	【専門職】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会	【専門職】 青山学院大学大学院法務研究科主任会規程 左記検証会議体からの委任先:( 法務研究科主 任会 )	年度初め
	4-2-6P2	【専門職】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○			年度末

会計プロフェッション研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第11条第2項に基づいて編成されていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」28-29ページ	「プロフェッショナル会計学専攻博士後期課程案内2016」 <a href="http://www.gspa.aoyama.ac.jp/admission/pdf/16doctor-annai.pdf">http://www.gspa.aoyama.ac.jp/admission/pdf/16doctor-annai.pdf</a> 確認日:(2017年5月22日)	年度初め
	4-2-1P	【専門職】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第11条第2項に基づいて編成されていますか。	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」11-14ページ 「研究科案内2016」4-8ページ		年度初め
(2)	4-2-2D	【博士後期・一貫制博士】 異なる教育機関(大学⇔大学院、大学院⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱		年度初め
	4-2-2P	【専門職】 異なる教育機関(大学院⇔専門職大学院、大学⇔専門職大学院等)と合同授業を実施している場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれの教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【専門職】 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に関する要綱		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-2-3D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学院設置基準第12条に基づいて講義科目と研究指導科目を適切に組み合わせたものになっていますか。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」28-29ページ	「プロフェッショナル会計学専攻博士後期課程案内2016」 <a href="http://www.gspa.aoyama.ac.jp/admission/pdf/16doctor-annai.pdf">http://www.gspa.aoyama.ac.jp/admission/pdf/16doctor-annai.pdf</a> 確認日:(2017年5月22日)	年度初め
(4)	4-2-4P	【専門職】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび専門職大学院設置基準第6条に基づき、理論教育と実務教育を適切に組み合わせたものとなっていますか。	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」11-14ページ 「研究科案内2016」4-8ページ	「カリキュラムの特色」 <a href="http://www.gspa.aoyama.ac.jp/curriculum/index.html">http://www.gspa.aoyama.ac.jp/curriculum/index.html</a> 確認日:(2017年5月19日)	年度初め
(5)	4-2-5D	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【博士後期・一貫制博士】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」28-29ページ	「プロフェッショナル会計学専攻博士後期課程案内2016」 <a href="http://www.gspa.aoyama.ac.jp/admission/pdf/16doctor-annai.pdf">http://www.gspa.aoyama.ac.jp/admission/pdf/16doctor-annai.pdf</a> 確認日:(2017年5月22日)	年度初め
	4-2-5P	【専門職】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○	【専門職】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月19日) 「2017年度大学院要覧」11-14ページ 「研究科案内2016」4-8ページ	「カリキュラムの特色」 <a href="http://www.gspa.aoyama.ac.jp/curriculum/index.html">http://www.gspa.aoyama.ac.jp/curriculum/index.html</a> 確認日:(2017年5月19日)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-2-6D1	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	×	【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体: 博士後期課程委員会  【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会		年度初め
	4-2-6P1	【専門職】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されています か。	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会		年度初め
	4-2-6D2	【博士後期・一貫制博士】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【博士後期】 大学院学則第73条 検証会議体: 博士後期課程委員会	【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-2-6P2	【専門職】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○	【専門職】 検証会議体: 研究科教授会	【専門職】 「青山学院大学会計プロフェッション研究科2016 年度自己点検評価報告書」 2017年度第2回教員FD研修会(2018年3月24日)	年度末

青山スタンダード教育機構

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 青山スタンダード教育機構

担当部署/担当者： 学務部

評価基準： 4-2(教育内容・方法・成果\_\_教育課程・教育内容)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-2-1A	【青スタ】 カリキュラムはカリキュラムポリシーおよび大学 設置基準第19条第2項に基づいて編成されてい ますか。	2017	○	【青スタ】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/5/17)		年度初め
(2)	4-2-2A	【青スタ】 異なる教育機関(大学⇄大学院、大学⇄専門職大 学院、短大⇄大学等)と合同授業を実施している 場合(※)、成績評価を区分するなど、それぞれ の教育の質を担保する工夫を行っていますか。  ※合同授業を実施していない場合は、便宜上 「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【青スタ】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/5/17) 青山学院大学学部在学生の大学院科目特別履修制度に 関する要綱		年度初め
(3)	4-2-5A	【青スタ】 カリキュラムポリシーに基づいた教育課程や教 育内容が、要覧やホームページ、案内冊子等に 明確に示されていますか。  ※科目ナンバリング等の学生の順次的・体系的 な履修への配慮を明らかにすること。	2017	○		【青スタ】 青山スタンダード科目履修ガイドVOL.9 (2016年度版) 大学ホームページ「青山スタンダード科目の特長」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/curriculum/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/aoyamastandard/curriculum/</a> 確認日:(2017/5/17)	年度初め
(4)	4-2-6A1	【青スタ】 カリキュラムの適切性を検証するにあたり、会議 体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○		【青スタ】 関連規則等 青山スタンダード教育開発センター 規則 検証会議体(青山スタンダード教育機構会議)	年度初め
	4-2-6A2	【青スタ】 カリキュラムの適切性は明文化された手続きに 従って定期的に検証され、その結果は改善につ ながっていますか。	2017	○		【青スタ】 関連規則等 青山スタンダード教育機構規則 検証会議体(青山スタンダード教育機構会議)	年度末

2017年度 自己点検・評価結果

基準4-3 教育内容・方法・成果

(教育方法等)

文学部・文学研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日〕 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日〕 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2017.5.14 )		年度初め
	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2018/5/13 )	大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2018/05/18 )	年度末
	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2018/5/13 )	大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2018/05/18 )	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 { 資料年度・URL・ウェブ確認日 } ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 { 資料年度・URL・ウェブ確認日 } ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単 位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( )		年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学 科において、当該学生に対して1年間に履修登 録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単位 未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部 は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してくだ さい。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( ) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転 学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を 伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する 内規		年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導 があらかじめ学生に周知・公表された研究指導 計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの 記載が要件	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2018 年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2018.5.13 ) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示した もの		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 関連規則等 検証会議体:( 分科会 )	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 議題・議事録等 検証会議体:( 比較芸術学科2018年度第二回分 科会および比較芸術学科規約 )	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 議題・議事録等 検証会議体:( 比較芸術学科2018年度第二回分 科会および比較芸術学科規約 )	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日〕 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日〕 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2017.5.14 )	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( 分科会 )	年度初め
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2019.5.19 )	【学部】 関連規則等 検証会議体:( 比較芸術学科2018年度第二回分科会および比較芸術学科規約 )	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2018.5.18 )	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( 比較芸術学科2018年度第二回分科会および比較芸術学科規約 )	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。 ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況」(2018.5.18)		年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。 ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○		大学院学則第31条、大学院入学前の既修得単位	年度末
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	○		青山学院大学全学FD委員会、青山学院大学FD推進委員会の活動(授業改善のための学生アンケート、学生意識調査、教育改善・教育プログラム支援制度、講演会の実施等)。	年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
文学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 { 資料年度・URL・ウェブ確認日 } ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 { 資料年度・URL・ウェブ確認日 } ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(8)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門 職】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】【専門職】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会  【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門 職】 委任先議題・議事録等比較芸術学科2018年度第 2回分科会および比較芸術学科規約	年度末

教育人間科学部・教育人間科学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 〕	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017.5. 30)		年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2018/06/08)	年度末
	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2018/06/08)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 ( 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 )	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 ( 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 )	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単位数の 上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学科に おいて、当該学生に対して1年間に履修登録できる単 位数の上限が緩和分も含めて50単位未満に設定され ていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部は便 宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017.5.30) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転学科を 含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転 学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内規		年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導があら かじめ学生に周知・公表された研究指導計画(※)に 基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの記載 が要件	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2018年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2018/06/07) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示したもの		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		【学部】 第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め
	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		【研究科】 第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日開催)資料	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日開催)資料 検証会議体:(教授会)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 ( 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 )	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 ( 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 )	チェック 可能時期
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:(2017/06/03)	【学部】 第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【研究科】 第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度初め
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【学部】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日開催)資料 検証会議体:(教授会)	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:(2017/06/08)	【研究科】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)。 検証会議体:(教授会)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況」	教育学科・心理学科とも編入学者に対する単位認定の内規あり	年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	×			年度末
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	×		「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日開催)資料	年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	×		「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会資料(2017年3月10日開催)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 第18回教育人間科学部教授会資料(2017/02/20) 検証会議体:教授会	【学部】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日開催)資料	年度末
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】【専門職】 検証会議体:研究科教授会  【博士後期】 検証会議体:博士課程委員会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日開催)資料	年度末

経済学部・経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	確認日2018/6/6	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	確認日2018/6/6	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単 位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( )		年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学 科において、当該学生に対して1年間に履修登 録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単位 未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部 は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してく ださい。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( ) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転 学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を 伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内 規		年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導 があらかじめ学生に周知・公表された研究指導 計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの 記載が要件	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 18 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:(2018/6/6) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示した もの	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(5)	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		教授会にて2017年5月10日付承認 検証会議体 (学部自己点検委員会) 5/10確認	年度初め
	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		教授会にて2017年5月10日付承認 検証会議体 (学部自己点検委員会) 5/10確認	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:(2017/5/10)	教授会にて2017年5月10日付承認 検証会議体 (学部自己点検委員会) 5/10確認	年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:(2017/5/10)	教授会にて2017年5月10日付承認 検証会議体(学部自己点検委員会) 5/10確認	年度初め
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:(2018/6/6)	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:(2018/6/6)	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	学内基準に基づき運用、2018/6/6確認	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	学内基準に従い運用、2018/6/6確認	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	○	確認日2018/6/6	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	○	確認日2018/6/6	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
(8)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(2017/5/10)	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(2017/5/10)	年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	従来から慣行に基づき柔軟な運用がなされており、それが規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	従来から慣行に基づき柔軟な運用がなされており、それが規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末

法学部・法学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	×	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 http://syllabus.aoyama.ac.jp/ 確認日:( )		年度初め
	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 http://syllabus.aoyama.ac.jp/ 確認日:( )		年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	×			年度末
	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	×			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単 位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学 科において、当該学生に対して1年間に履修登 録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単位 未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部 は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してく ださい。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.04.01. ) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転 学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を 伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内 規		年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導 があらかじめ学生に周知・公表された研究指導 計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの 記載が要件	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2018 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2018.04.01 ) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示した もの		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどう かを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手 続きが明文化されていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduat e/questionnaire.html 確認日:( )	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況」		年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【研究科】 大学院学則第31条		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末
(8)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】【専門職】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会  【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 委任先議題・議事録等	年度末

経営学部・経営学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2018年5月1日)		年度末
	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2018年5月1日)		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単 位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学 科において、当該学生に対して1年間に履修登 録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単位 未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部 は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してく ださい。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年6月6日) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転 学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を 伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内 規		年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導 があらかじめ学生に周知・公表された研究指導 計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの 記載が要件	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2018年5月1日) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示した もの		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:(2017年6月6日)	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:(2017年6月6日)	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:(2018年5月1日)	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:(2018年5月1日)	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況」		年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【研究科】 入学手続要項		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末
(8)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】【専門職】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会  【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 委任先議題・議事録等	年度末

国際政治経済学部・国際政治経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/FD_suishin/enquete_top.html">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/FD_suishin/enquete_top.html</a>		年度末
	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/FD_suishin/enquete_top.html">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyoumu/FD_suishin/enquete_top.html</a>		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単 位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」13頁 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学 科において、当該学生に対して1年間に履修登 録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単位 未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部 は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してく ださい。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」13頁 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sipec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転 学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を 伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内 規		年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導 があらかじめ学生に周知・公表された研究指導 計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの 記載が要件	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( )年度 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( ) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示した もの		年度末
	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×			年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×			年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( )		年度初め
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況」	短大からの編入 2017年度第1回国際政治経済学部教授会 (2017/4/19)協議事項11.(学16—回収)	年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○			年度末
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(8)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等:2016年5月25日付 2016年度国際政治経済学部第3回教授会協議事 項2. 左記検証会議体からの委任先:主任会 手続:2016年6月8日付2016年度第4回国際政治 経済学部・研究科主任会議題2.「青山学院大学国 際政治経済学部・研究科主任会における自己点 検・評価の 検証事項に関する手続(案)」	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会		年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	○		【学部】 2017年度第17回国際政治経済学部・研究科主任 会記録議題2.「自己点検・評価の検証事項に関す る回答(案)」別添参考資料2	年度末
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】【専門職】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会  【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門 職】 委任先議題・議事録等	年度末

総合文化政策学部・総合文化政策学研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2017年4月27日 )	・ラボ・アトリエ実習ガイド ・文化基礎演習ガイド ・文化演習ガイド ・英語による日本研究 I・IIシラバス	年度初め
	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2017年4月27日 )		年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		・ラボ・アトリエ実習ガイド ・文化基礎演習ガイド ・文化演習ガイド ・英語による日本研究 I・IIシラバス	年度末
	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		・プロジェクト演習及び授業のシラバス	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単 位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017年4月27日 )	授業要覧 総合文化政策学部 2017年度 p12	年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学 科において、当該学生に対して1年間に履修登 録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単 位未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学 部は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載し てください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017年4月27日 ) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転 学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を 伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内 規	総合文化政策学部総合文化政策学科編入学生 の既修得単位の認定等に関する内規	年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導 があらかじめ学生に周知・公表された研究指導 計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの 記載が要件	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2018年6月3日 ) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示した もの		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【学部】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどう かを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手 続きが明文化されていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( )	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。 ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況」		年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。 ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○		大学院学則の31条 「青山学院大学大学院入学前の既修得単位の認定に関する細則」	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	×			年度末
(8)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月25日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( 総合文化政策学部・研究科合同主任会 )	年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等	年度末
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会  【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】 委任先議題・議事録等	年度末

理工学部・理工学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	<p>【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。</p> <p>※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態</p>	2017	○	<p>【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日 2017年5月29日</p>	<p>物数:卒業研究発表会プログラム・アブストラクト集(2017/02/02、2017/02/03) 化生:卒業研究発表会要旨集(20170202-03) 電気:卒業研究抄録集(2017年2月3日) 機械:卒論発表会プログラムと抄録集(2017/2/17-18) 経シス:学科会議議事録(20160727) 情テク:卒業論文CD-ROM(20170325)卒業研究発表会プログラム及び質疑(20170203)</p>	年度初め
	4-3-1G	<p>【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。</p> <p>※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態</p>	2017	○	<p>【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日 2017年5月29日</p>	<p>基礎科学:修士論文発表会発表プログラム・概要集(2017/02/17、)2017/04/19 化学:修士論文発表会要旨集(20170224)および理工学研究科ホームページでの目次掲載 2017/05/15 機能物質創成:コース会議第1回議事録 生命科学:修士論文発表会 要旨集(20170224) 電気:修士論文発表会プログラム及び予稿集(2017年2月1日) 機械創造:修論発表会プログラムと抄録集(2017/2/2-3) 知能情報:修士論文発表会プログラム 2017/02/06 マネテク:コース会議議事録(20160727)</p>	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
 理工学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-3-2U	<p>【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。</p> <p>※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態</p>	2017	○		<p>物数: 専門実験問題集, 専門実験テキスト, 計測実験テキスト                      化生: 化学情報処理実習, 化学基礎実験, 物理化学実験, 有機化学実験, 無機化学実験, 生体物質分析実験, 生命科学実験 I, 生命科学実験 II の各テキスト                      電気: 専門実験各科目の独自テキスト, 「電気電子工学概論」: オムニバス形式の講義, 入学時の学力を調べるために、数学、物理等の基礎科目の試験(根拠資料はシラバス)                      機械創造: 機械創造工学実験 I, II テキスト                      経シス: 学科会議議事録(20171018)                      情テク: 実験実習科目テキスト、卒業研究発表会  <a href="https://lms.it.aoyama.ac.jp/course/view.php?id=414">https://lms.it.aoyama.ac.jp/course/view.php?id=414</a>, 卒業研究CD-ROM</p>	年度末
	4-3-2G	<p>【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。</p> <p>※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態</p>	2017	○		<p>基礎科学: 修士論文中間発表プログラム(2017/10/21)                      化学: 修士論文中間報告会(20170910)                      機能物質: 修士論文中間発表プログラム                      生命科学: 生命科学コース 修士論文中間発表要旨集(2017/9/16)                      電気電子: ゼミ実施(履修要覧)に記載。中間発表は9月14日に実施                      機械創造: 修士論文中間発表会(2017/4/22)                      経シス: 学科会議議事録(20171018)                      知能情報: 修士論文中間発表会(2017/9/14)  <a href="https://lms.it.aoyama.ac.jp/course/view.php?id=396">https://lms.it.aoyama.ac.jp/course/view.php?id=396</a></p>	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単 位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年5月29日)		年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学 科において、当該学生に対して1年間に履修登 録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単位 未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部 は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してくだ さい。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:2017年5月15日 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転 学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を 伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内 規		年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導 があらかじめ学生に周知・公表された研究指導 計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの 記載が要件	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2018年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:2018年5月29日 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示した もの	基礎科学:2018/04/21 スケジュール表の掲示 化学:× 機能物質:2018年5月15日 生命科学:× 電気:第2回 平成29年4月19日、第12回 平成29 年9月28日 機械創造:2017年度修士論文審査日程および手 順(2017/4/21) 経シス:学科会議議事録(20170517) 知能情報:コース会議議事録(2017/5/10) 中間発 表と最終発表の日程決定	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
 理工学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		全学教務委員会 2016年10月26日	年度初め
	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		全学教務委員会 2016年10月26日	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		【学部】 検証会議体: 学科会議 物数: 学科会議事録 20180308 化生: × 電気: × 機械: × 経シス: 学科会議議事録(第16回 2017年1月17日) 情テク: ×	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		【研究科】 検証会議体: コース会議  基礎科学: × 化学: × 機能物質: 2018年2月23日コース会議メモ 生命科学: × 電気: × 機械創造: × 知能情報: × マネテクト: 学科会議議事録(第16回 2017年1月17 日)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日 2017年5月29日	物数: × : 2017/04/19 化生: × 2017/05/15 電気: × 機械: 第8回教室会議メモ2016/9/28 経シス: 学科会議議事録(20161109) 情テク: × 知能情報: ×	年度初め
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日 2017年5月29日	基礎科学: コース会議議事録 2017/02/17 2017/04/19 化学: × 電気: × 機械: 第8回教室会議メモ2016/9/28 マネテク: コース会議議事録(20161109) 生命科学: × 知能情報: × 機能物質: ×	年度初め
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日: 2018年5月29日	【学部】 関連規則等検証会議体: (学科会議)  物数: 学科会議議事録 20180308 化生: × 電気: × 機械創造: 第8回教室会議メモ2017/7/26, 第12回 教室会議メモ2017/10/18 経シス: 学科会議議事録(第11回 2017年10月18 日) 情テク: ×	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日: 2018年5月29日	【研究科】 関連規則等検証会議体: (コース会議)  基礎科学: コース会議議事録 20180222 化学: コース会議メモ 2017年6月20日 機能物質: × 生命科学: × 電気: × 機械創造: 第12回教室会議メモ2017/10/18 知能情報: × マネテク: 学科会議議事録(第11回 2017年10月18 日)	年度末

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。 ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	×	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況」	物数:該当なし 化生:× 電気:該当無し 機械創造:該当なし 経シス:該当なし 情テク:該当なし	年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。 ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	×		基礎科学:該当無し、コース会議議事録 2018/02/22 化学:該当しない 機能物質:× 生命科学:× 電気:該当無し 機械創造:該当なし マネテク:該当なし 知能情報:該当なし	年度末
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	×		物数:特になし、授業アンケート 7月、1月 結果9月、3月 化生:× 電気:第14回 平成29年11月8日、第18回 平成30年1月17日、第19回 平成30年3月8日 機械創造:× 経シス:× 情テク:学科会議議事録(2017/7/5,11/29)	年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	×		基礎科学:特になし 化学:× 機能物質:× 生命科学:× 電気:第14回 平成29年11月8日、第18回 平成30年1月17日、第19回 平成30年3月8日 機械創造:× 知能情報:× マネテクト:×	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 委任先:教務委員会, 学科会議	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門 職】 委任に関する申し合わせ等 :2016年5月11日付承認 委任先:専攻コース教務主任会, コース会議	年度初め
(8)	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議議事録・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等 物数:学科会議議事録 20180308 化生:× 電気:2017年度第2回 4月19日、第4回 5月18日、 第9回 7月20日、第10回 7月27日、第11回 9月13 日、第12回 9月28日、第13回 10月18日、第14回 11月8日、第15回 11月29日、第16回 12月18日 機械創造:第1回教室会議メモ2017/4/19, 第10回 教室会議メモ2017/9/27 経シス:学科会議議事録(第11回 2017年10月18 日) 情テク:学科会議議事録(2017/10/25,11/29)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
 理工学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日) ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】【専門職】 第●回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体:研究科教授会  【博士後期】 第●回博士後期課程委員会議題・議事録等 検証会議体:博士課程委員会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門 職】 委任先議題・議事録等 基礎科学:コース会議議事録 2018/02/22 化学:コース会議メモ 2017年6月20日 機能物質:× 生命科学:× 電気:第2回 平成29年4月19日、第4回 平成29年5 月18日、第9回 平成29年7月20日、第10回 平成 29年7月27日、第11回 平成29年9月13日、第12回 平成29年9月28日、第13回 平成29年10月18日、 第14回 平成29年11月8日、第15回 平成29年11 月29日、第16回 平成29年12月18日 機械創造:第1回教室会議メモ2017/4/19, 第2回 教室会議メモ2017/5/10, 第12回教室会議メモ 2017/10/18 マネテク:学科会議議事録(第11回 2017年10月18 日) 知能情報:コース会議議事録(2017/10/4)	年度末

社会情報学部・社会情報学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2017.5.15)		年度初め
	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2018.5.16 )	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2018.4.13 )	年度末
	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2018.4.26 )	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017/6/1 )		年度初め
	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学科において、当該学生に対して1年間に履修登録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単位未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017/6/1 ) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内規		年度初め
(4)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導があらかじめ学生に周知・公表された研究指導計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの記載が要件	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2018.4.26 ) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示したもの		年度末
	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○	【学部】 全学教務委員会	【学部】 関連規則等 検証会議体:(教授会での全学教務委員会報告)	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○	【研究科】 関連規則等 検証会議体:(学部教授会での全学教務委員会報告)	【研究科】 関連規則等 検証会議体:(学部教授会での全学教務委員会報告)	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○	【学部】 「講義内容入稿手順書」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyweb/manual/manual/kouginaiyou(syllabus)_manual.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyweb/manual/manual/kouginaiyou(syllabus)_manual.pdf</a> 確認日:(2018.4.26)	【学部】 議題・議事録等 検証会議体:(教務委員会)	年度末
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○	「講義内容入稿手順書」 <a href="https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyweb/manual/manual/kouginaiyou(syllabus)_manual.pdf">https://jimweb.jm.aoyama.ac.jp/kyweb/manual/manual/kouginaiyou(syllabus)_manual.pdf</a> 確認日:(2018.4.26.)	【研究科】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2017.5.15)	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )	【研究科】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2018.4.13 )	【学部】 関連規則等 FD委員会規則 検証会議体:(主任会)学生意識調査調査報告会 事前打ち合わせ 2017.6.20 検証会議体:(教授会) 学生意識調査報告会 2017.7.26	年度末
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2018.4.26 )	【研究科】 関連規則等 FD委員会規則 検証会議体:(主任会)学生意識調査調査報告会 事前打ち合わせ 2017.6.20 検証会議体:(教授会) 学生意識調査報告会 2017.7.26	年度末
(6)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況」		年度末
	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○		該当者なし	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務課(相)  
 評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	○		FD合宿 (2018.3.15、16)	年度末
	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	○		FD合宿 (2018.3.15、16)	年度末
(8)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体:研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体:博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体:研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 委任に関する申し合わせ等 :●年●月●日付承認 左記検証会議体からの委任先 :( )	年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【学部】 第17回教授会議題・議事録等 検証会議体:教授会	【学部】 委任先議題・議事録等 教務委員会にて状況確認、議論の後、原案作成後、教授会にて決定	年度末
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】【一貫制博士】【専門職】 第17回教授会議題・議事録等 検証会議体:学部教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】 委任先議題・議事録等	年度末

地球社会共生学部

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1U	【学部】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【学部】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/04/22)	「地球社会共生学部 留学ガイド」(2017年度) 「フィールドスタディガイド」(2017年度)	年度初め
(2)	4-3-2U	【学部】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2018/04/22)	年度末
	4-3-3U1	【学部】 学部・学科において1年間に履修登録できる単位数の上限を50単位未満に設定していますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/04/22)		年度初め
(3)	4-3-3U2	【学部】 編入学・転学部・転学科を実施している学部・学科において、当該学生に対して1年間に履修登録できる単位数の上限が緩和分も含めて50単位未満に設定されていますか。  ※編入学・転学部・転学科を実施していない学部は便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/04/22) 編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定基準及び授業科目履修細則 各学部学科の編入学、転部又は転学部・転学科(転部を伴う転学部・転学科を含む)学生の単位認定等に関する内規		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-3-6U1	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		【学部】 関連規則等 検証会議体:(教務委員会) 「自己点検評価検証作業について(案)」 (2016/12/14)	年度初め
	4-3-6U2	【学部】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された 手続きに従って定期的に検証され、その結果は 改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		【学部】 関連規則等 検証会議体:(教務委員会) 「2017年度自己点検・評価検証作業について」 (2017/06/14)	年度末
	4-3-6U3	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどう かを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手 続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:(2017/04/22)	【学部】 関連規則等 検証会議体:(なし)	年度初め
	4-3-6U4	【学部】 シラバスに基づいた授業が行われているかどう かは、明文化された手続きに従って定期的に検 証され、その結果は改善につながっています か。	2017	×	【学部】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( )	【学部】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
(5)	4-3-8U	【学部】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基 準(※1)に従って、適切に実施されていますか (※2)。  ※1大学学則第42条の2(60単位) ※2単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	【学部】 大学資料集「教務課15 単位互換協定以外で大学独自に 行っている単位認定の状況」		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-3-9U	【学部】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部レベルで組織的に行われましたか。	2017	○		FD研究会「LGBTについて」を実施(2017/07/05) FD研究会「明日のGSC教育を考えるヒント」を実施(2018/02/09)	年度末
(7)	4-3-10U1	【学部】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第3号 検証会議体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2016年4月20日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(教務委員会) 第8回教務委員会 「学部内FD委員会の設置について(案)」承認。 (2016/12/14) 第15回主任会 同、承認。(2016/12/21)	年度初め
	4-3-10U2	【学部】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○		【学部】 委任先議題・議事録等 FD研究会「明日のGSC教育を考えるヒント」を実施(2018/02/09)	年度末

国際マネジメント研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 2017/5/31 )	研究科2017年度入学案内、研究科2017年度授業要覧 MBA Programs、2017年度大学院国際マネジメント研究科シラバス <a href="http://www.aoyamabs.jp/programs/syllabus.html">http://www.aoyamabs.jp/programs/syllabus.html</a>	年度初め
(2)	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		学生による授業評価アンケート、研究科2017年度入学案内、研究科2017年度授業要覧 MBA Programs、2017年度大学院国際マネジメント研究科シラバス <a href="http://www.aoyamabs.jp/programs/syllabus.html">http://www.aoyamabs.jp/programs/syllabus.html</a>	年度末
(3)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導があらかじめ学生に周知・公表された研究指導計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの記載が要件	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2018 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2018/6/1 ) 研究指導計画どおりに研究指導を行った実績を明示したもの	研究科2017年度授業要覧 PhD/DBA Programsに明記。博士課程委員会で博士課程学生の個人別進捗状況確認シートに基づき、主査が個別学生の進捗・研究指導状況を説明し、専任教員全員で進捗・研究指導状況を共有 年に1回博士課程学生が進捗レポートを研究科長・博士課程専攻主任・主査・副査に提出	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○	2017年度第3回研究科教授会議議事録	2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 議事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会	年度初め
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【研究科】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどう かを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手 続きが明文化されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html">http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	【研究科】 関連規則等 研究科学生の授業評価アンケート 検証会議体:(Performance & Development 面談 などを通じて研究科長・教務主任等と面談)	年度初め
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどう かは、明文化された手続きに従って定期的に検 証され、その結果は改善につながっています か。	2017	○	【研究科】 研究科ホームページ「授業評価アンケート」 <a href="http://www.aoyamabs.jp/value/evaluate.html">http://www.aoyamabs.jp/value/evaluate.html</a> 確認日:( 2018/6/1 )	【研究科】 関連規則等 研究科学生の授業評価アンケート 検証会議体:(Performance & Development 面談 などを通じて研究科長・教務主任等と面談)	年度末
(5)	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基 準(※1)に従って、適切に実施されていますか (※2)。  ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定 める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○		専門職大学院学則第40条に従い、適切に実施	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的とした FD活動が研究科レベルで組織的に行われまし たか。	2017	○		【研究科】 関連規則等 研究科学生の授業評価アンケート 検証会議体: (Performance & Development 面談 等)を通じて研究科長・教務主任等と面談)	年度末
(7)	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【修士・博士前期】【一貫制博士】 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体: 研究科教授会  【博士後期】 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体: 博士後期課程委員会  【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体: 研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門 職】 2017年度第2回国際マネジメント研究科教授会議 事録 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月24日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員 会)	年度初め
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	○	【修士・博士前期】【一貫制博士】【専門職】 第3回研究科教授会議題・議事録等 検証会議体: 研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門 職】 関連規則等 研究科学生の授業評価アンケート 検証会議体: (Performance & Development 面談 等)を通じて研究科長・教務主任等と面談)	年度末

# 法務研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者： 学務部専門職大学院教務課

評価基準： 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:( 6/5 )		年度初め
(2)	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		教育改善研究会議事録	年度末
(3)	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		【研究科】 青山学院大学大学院法務研究科主任会規程 検証会議体( 法務研究科主任会 ) 青山学院大学大学院法務研究科FD規程 検証会議体( FD委員会、教育改善研究会 )	年度初め
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○		【研究科】 青山学院大学大学院法務研究科主任会規程 教育改善研究会議事録	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○		【研究科】 青山学院大学大学院法務研究科FD規程 検証会議体:( FD委員会、教育改善研究会 ) 法務研究科「学生授業評価アンケート」(冊子体)	年度初め
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○		【研究科】 検証会議体:( FD委員会、教育改善研究会 ) 法務研究科「学生授業評価アンケート」(冊子体)	年度末
(4)	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。 ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○		法務研究科入学前の既修得単位の認定及び法学既修者の既に修得したものとみなす単位の取扱いに関する細則	年度末
(5)	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	○		青山学院大学大学院法務研究科FD規程 教育改善研究会議事録	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(6)	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体: 研究科教授会	【専門職】 青山学院大学大学院法務研究科FD規程 左記検証会議体からの委任先: (FD委員会、教育改善研究会)	年度初め
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	○		青山学院大学大学院法務研究科FD規程 検証会議体: ( FD委員会、教育改善研究会 )	年度末

会計プロフェッション研究科

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1G	【研究科】 教育目標(ディプロマポリシーを含む)を達成するために必要となる教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017年5月19日)		年度初め
(2)	4-3-2G	【研究科】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基づいた適切な教育方法(※)が実施されましたか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、ITの活用、外国語科目以外での外国語による授業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		「青山学院大学会計プロフェッション研究科2017年度自己点検評価報告書」 2017年度第2回教員FD研修会(2018年3月24日)	年度末
(3)	4-3-4G	【研究科】 各課程において研究指導および学位論文指導があらかじめ学生に周知・公表された研究指導計画(※)に基づいて行われましたか。  ※研究指導の方法や内容、年間スケジュールの記載が要件	2017	○	2017年度大学院要覧	2017年11月22日(水)中間報告会、2018年2月10日(土)口述試問を実施	年度末
(4)	4-3-6G1	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)について検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則専門職大学院学則33条 検証会議体:(研究科教授会)	【研究科】 関連規則等:シラバス第三者チェックの実施に関する申し合わせ	年度初め
	4-3-6G2	【研究科】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則専門職大学院学則33条 検証会議体:(研究科教授会)	【研究科】 関連規則等:シラバス第三者チェックの実施に関する申し合わせ	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
	4-3-6G3	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則専門職大学院学則33条 検証会議体:(研究科教授会)	研究科ホームページ「授業評価アンケート」 <a href="http://www.gspa.aoyama.ac.jp/about/enquete.htm">http://www.gspa.aoyama.ac.jp/about/enquete.htm</a>   確認日:(2017年5月22日)	年度初め
	4-3-6G4	【研究科】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○	【研究科】 青山学院大学学則専門職大学院学則33条 検証会議体:(研究科教授会)	研究科ホームページ「授業評価アンケート」 <a href="http://www.gspa.aoyama.ac.jp/about/enquete.htm">http://www.gspa.aoyama.ac.jp/about/enquete.htm</a>   確認日:(2018年6月1日) 2017年度第2回教員FD研修会(2018年3月24日)	年度末
(5)	4-3-8G	【研究科】 既修得単位の認定は、学則に基づいた学内基準(※1)に従って、適切に実施されていますか(※2)。  ※1 ・大学院学則第31条(10単位) ・専門職大学院学則第40条(修了要件として定める単位数の1/2未満)※法務研究科(36単位) ※2 単位認定の基準を明確にしていること。	2017	○	2017年度第1回研究科教授会報告事項2		年度末
(6)	4-3-9G	【研究科】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が研究科レベルで組織的に行われましたか。	2017	○		「青山学院大学会計プロフェッション研究科2017年度自己点検評価報告書」 2017年度教員FD研修会(2017年7月5日、2018年3月24日)	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(7)	4-3-10G1	【研究科】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体 (委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	<b>【修士・博士前期】【一貫制博士】</b> 大学院学則第69条第1項第3号 責任主体: 研究科教授会  <b>【博士後期】</b> 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体: 博士後期課程委員会  <b>【専門職】</b> 専門職大学院学則第56条第1項第3号 責任主体: 研究科教授会	【修士・博士前期】【博士後期・一貫制博士】【専門職】	年度初め
	4-3-10G2	【研究科】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従っ て定期的に検証され、その結果は改善につな がっていますか。	2017	○	<b>【専門職】</b> 専門職大学院学則第56条第1項第3号 検証会議体: 研究科教授会  <b>【博士後期・一貫制博士】</b> 大学院学則第73条第1項第2号および第3号 検証会議体: 研究科教授会	「青山学院大学会計プロフェッション研究科2016 年度自己点検評価報告書」 2017年度教員FD研修会(2017年7月5日、2018年3 月24日)	年度末

青山スタンダード教育機構

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 青山スタンダード教育機構

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-1A	【青スタ】 ディプロマポリシーを達成するために必要となる 教育方法(※)が明らかにされていますか。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、IT の活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○	【青スタ】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/5/17)	【青スタ】 青山スタンダード科目履修ガイドVOL.9 (2016年度版)	年度初め
(2)	4-3-2A	【青スタ】 各授業科目において、カリキュラムポリシーに基 づいた適切な教育方法(※)が実施されました か。  ※グループワーク、フィールドワーク、少人数、IT の活用、外国語科目以外での外国語による授 業、ゼミ形式等の実施形態	2017	○		【青スタ】 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2018/5/16)	年度末
(3)	4-3-6A1	【青スタ】 シラバスの内容の適切性(※)について検証する にあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化 されていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【青スタ】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6A2	【青スタ】 シラバスの内容の適切性(※)は明文化された手 続きに従って定期的に検証され、その結果は改 善につながっていますか。  ※適切性の視点 ・単位制度の趣旨に照らした学習 ・事前事後学習 など	2017	×		【青スタ】 議題・議事録等 検証会議体:( )	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 青山スタンダード教育機構

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(4)	4-3-6A3	【青スタ】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかを検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	×	【青スタ】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【青スタ】 関連規則等 検証会議体:( )	年度初め
	4-3-6A4	【青スタ】 シラバスに基づいた授業が行われているかどうかは、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	×	【青スタ】 大学ホームページ「授業改善のための学生アンケート」 http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/questionnaire.html 確認日:( )	【青スタ】 関連規則等 検証会議体:( )	年度末
	4-3-10A1	【青スタ】 教育内容・方法等を検証するにあたり、会議体(委員会等)・手続きが明文化されていますか。	2017	○		【青スタ】 関連規則等 青山スタンダード教育開発センター規則 検証会議体:(青山スタンダード教育機構会議)	年度初め
	4-3-10A2	【青スタ】 教育内容・方法は、明文化された手続きに従って定期的に検証され、その結果は改善につながっていますか。	2017	○		【青スタ】 関連規則等 青山スタンダード教育機構規則 検証会議体:(青山スタンダード教育機構会議)	年度末

全学FD委員会

**自己点検・評価チェックリスト**

担当委員会: 全学FD委員会

担当部署/担当者: 学務部、学務課(相模原)

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※両キャンパスができて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-9W	【大学全体】 教育内容・方法等の改善を図ることを目的としたFD活動が学部・研究科を含む全学的なレベルで組織的に行われましたか。	2017	○	【大学全体】 授業改善アンケート、研修会要項など 大学資料集「教育支援課1 授業アンケート実施率」 大学資料集「教育支援課2 学内公募による「教育改善・教育プログラム支援制度」採択者」		年度末

全学教務委員会

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 全学教務委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-3(教育内容・方法・成果\_\_教育方法)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-3-5W	【大学全体】 授業の目的、到達目標、授業内容・方法、1年間の授業計画、成績評価方法・基準等を明らかにしたシラバスが、統一した書式を用いて作成され、かつ、学生にあらかじめ公表されていますか。	2017	○	【大学全体】 シラバス入稿マニュアル 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/5/17)		年度初め
(2)	4-3-7W	【大学全体】 単位が授業科目の内容、形態等を考慮し、単位制度の趣旨に沿って(※)設定されていますか。  ※学修時間の確保 など	2017	○	【大学全体】 学事暦 シラバス入稿マニュアル 大学ホームページ「シラバス(講義内容検索)」 <a href="http://syllabus.aoyama.ac.jp/">http://syllabus.aoyama.ac.jp/</a> 確認日:(2017/5/17)		年度初め

2017年度 自己点検・評価結果

基準4-4 教育内容・方法・成果

(成果)

文学部・文学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。 ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。 ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.6.12 )		年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.6.12 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的 な学位論文審査基準が大学院要覧等によって あらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程 については(※)、その具体的な審査基準を設 け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示して いますか。  ※特定課題による学位授与を行っていない場合 は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してく ださい。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.5.20 )		年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士】 博士後期課程・一貫制博士課程を最長在学年 限内に退学した者に対し学位を授与する場合、 大学院学位規則第8条3項の規定に則り行われ ましたか。	2017	×			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 文学部自己点検・評価委員会  
 文学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	なし	年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【学部】 第●回教授会議題・議事録等 責任主体:教授会	なし	年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【修士・博士前期】 第10回研究科教授会議題・議事録等(2017.3.10) 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 第●回議題・議事録等 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度末

教育人間科学部・教育人間科学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。 ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×		「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日開催)資料	年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。 ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×		「自己点検・評価にかかる検討について」第19回教育人間科学部教授会(2017年3月10日開催)資料	年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/06/03)		年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的な学位論文審査基準が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。 ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程については(※)、その具体的な審査基準を設け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示していますか。 ※特定課題による学位授与を行っていない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017.5.30)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 教育人間科学部自己点検・評価委員会  
 教育人間科学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士】 博士後期課程・一貫制博士課程を最長在学年限内に 退学した者に対し学位を授与する場合、大学院学位 規則第8条3項の規定に則り行われましたか。	2017	○			年度末
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明 文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	なし	年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明 文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審 査委員会	なし	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続き に従って授与されましたか。	2017	○	【学部】 第19回教授会(2018年3月8日)議題・議事録等 責任主体:教授会	なし	年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続き に従って授与されましたか。	2017	○	【修士・博士前期】 第14回研究科教授会(2018年3月1日)議題・議事録等 責任主体:研究科教授会 【博士後期・一貫制博士】 第3回 教育人間科学研究科 博士後期課程委員会(2017年6月2 1日)、第4回 教育人間科学研究科 博士後期課程委員会(2017 年7月5日)、第6回 教育人間科学研究科 博士後期課程委員会 (2018年1月10)議題・議事録 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審 査委員会	なし	年度末

経済学部・経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事録	年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( )		年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的 な学位論文審査基準が大学院要覧等によって あらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 17 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事 録	年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程 については(※)、その具体的な審査基準を設 け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示して いますか。  ※特定課題による学位授与を行っていない場合 は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載して ください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 17 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/5/10)	第1回学部自己点検・評価委員会(5/10開催)議事 録	年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士】 博士後期課程・一貫制博士課程を最長在学年 限内に退学した者に対し学位を授与する場合、 大学院学位規則第8条3項の規定に則り行われ ましたか。	2017	○		第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事 録	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経済学部自己点検・評価委員会  
 経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会) 5/10確認	年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	【学部】 委任に関する申し合わせ等 :2017年5月10日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(学部自己点検委員会) 5/10確認	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	従来からの慣行に基づき柔軟な運用が行われており、それが規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	従来からの慣行に基づき柔軟な運用が行われており、それが規範として確立している。	第1回学部自己点検・評価委員会(6/6開催)議事録	年度末

法学部・法学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○	成績評価基準		年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的 な学位論文審査基準が大学院要覧等によって あらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程 については(※)、その具体的な審査基準を設 け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示して いますか。  ※特定課題による学位授与を行っていない場合 は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載して ください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.ht ml</a> 確認日:( 2017.04.01. )		年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士博士】 博士後期課程・一貫制博士博士課程を最長在 学年限内に退学した者に対し学位を授与する場 合、大学院学位規則第8条3項の規定に則り行 われましたか。	2017	○	【研究科】 大学院学位規則第8条第3項		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法学部自己点検・評価委員会  
 法学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	なし	年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【学部】 第19回教授会議題・議事録等 責任主体:教授会	なし	年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【修士・博士前期】 第23回研究科教授会議題・議事録等 責任主体:研究科教授会	なし	年度末

経営学部・経営学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的 な学位論文審査基準が大学院要覧等によって あらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程 については(※)、その具体的な審査基準を設 け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示して いますか。  ※特定課題による学位授与を行っていない場合 は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載して ください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年6月6日)		年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士博士】 博士後期課程・一貫制博士博士課程を最長在 学年限内に退学した者に対し学位を授与する場 合、大学院学位規則第8条3項の規定に則り行 われましたか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a>		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 経営学部自己点検・評価委員会  
 経営学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	なし	年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a>		年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【修士・博士前期】 第13回研究科教授会議議事録等 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 2017年度学位授与なし 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度末

国際政治経済学部・国際政治経済学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度)12頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sippec_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/sippec_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度)97-100頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的 な学位論文審査基準が大学院要覧等によって あらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】		年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程 については(※)、その具体的な審査基準を設 け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示して いますか。  ※特定課題による学位授与を行っていない場合 は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載して ください。	2017	○	大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度)97-100頁 <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/pdf/graduate_2017.pdf</a> 確認日:(2017/5/16)		年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士博士】 博士後期課程・一貫制博士博士課程を最長在 学年限内に退学した者に対し学位を授与する場 合、大学院学位規則第8条3項の規定に則り行 われましたか。	2017	○			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際政治経済学部自己点検・評価委員会  
 国際政治経済学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	なし	年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○		2017年度第18回国際政治経済学部教授会 (2018/3/8)協議事項1.(学12)	年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○		2017年度第15回国際政治経済学研究科教授会 (2018/3/8)協議事項2.(別添資料(3))	年度末

総合文化政策学部・総合文化政策学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:( 2017年4月27日 )	授業要覧 総合文化政策学部 2017年度 p12	年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017年4月27日 )		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的 な学位論文審査基準が大学院要覧等によって あらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」と し、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017年4月27日 )		年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程 については(※)、その具体的な審査基準を設 け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示して いますか。  ※特定課題による学位授与を行っていない場合 は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載して ください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017 年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017年4月27日 )		年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士】 博士後期課程・一貫制博士博士課程を最長在 学年限内に退学した者に対し学位を授与する場 合、大学院学位規則第8条3項の規定に則り行 われましたか。	2017	×			年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 総合文化政策学部自己点検・評価委員会  
 総合文化政策学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者: 学務部  
 評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	授業要覧 総合文化政策学部 2017年度 p12 (2)学位について	年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【学部】 第18回教授会議議題・議事録等 責任主体:教授会	なし	年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【修士・博士前期】 第11回研究科教授会議議題・議事録等 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 第11回議題・議事録等 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度末

理工学部・理工学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○		物数:実力テスト実施 2018/01/12 卒業研究中間発表優秀者表彰(卒業式時実施)卒業研究優秀表彰(卒業式時実施) 化生:実力試験(2017/04/08) 電気:第12回 平成29年9月28日、第15回 平成29年11月29日、第16回 平成29年12月18日 機械創造:第18回教室会議メモ2018/3/8 経シス:実力テストに関する議論 科会議議事録(第8回 2018年7月26日) 情テク:実力試験実施(2017/11/25)と成績公開 CoursePower(情報テクノロジー学科実力試験) 卒研再発表基準の協議(学科会議議事録 2018/02/06)	年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○		基礎科学:コース中間発表会発表会(2017/10/21), 薦田先端学術賞候補者推薦(2018/01/27), 日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考(2018/02/22), 学業成績優秀者表彰選考(20180308) 化学:青山学院大学大学院給付奨学生(201704), 薦田先端学術賞(201704), 日本学生支援機構奨学金返還免除候補者(20180226) 機能物質:コース中間発表会発表評価(2017/10/14), 薦田先端学術賞候補者推薦(2018/01/26), 日本学生支援機構奨学金返還免除候補者(2018/02/23)大学院学位授与式総代の候補者推薦(2018/02/23)最先端機能物質セミナーのレポート評価(2017/07/30) 生命科学:薦田先端学術賞(2018/2/28),日本学生支援機構奨学金返還免除候補者(対象者なし) 電気:第2回 平成29年4月19日、第17回 平成30年1月10日、第19回 平成30年3月8日 機械創造:第18回教室会議メモ2018/3/8 マネテク:実力試験なし, 修論中間発表会評価シート(学科会議議事録 2017/7/26) 知能情報:中間発表会(2017/09/14)最終発表評価(コース会議議事録2018/02/06)学業成績優秀者の選定基準の協議(コース会議議事録 2018/03/24)	年度末

## 自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:2017年5月29日		年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:2017年5月29日		年度初め
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的な学位論文審査基準が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日 2017年5月29日	追加資料なし	年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程については(※)、その具体的な審査基準を設け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示していますか。  ※特定課題による学位授与を行っていない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日 2017年5月29日	追加資料なし	年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士】 博士後期課程・一貫制博士課程を最長在学年限内に退学した者に対し学位を授与する場合、大学院学位規則第8条3項の規定に則り行われましたか。	2017	○		基礎科学:対象者なし 化学:対象者なし 機能物質:対象者なし 生命科学:対象者なし 電気:対象者なし 機械創造:対象者なし マネテク:対象者なし 知能情報:対象者なし	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 理工学部自己点検・評価委員会  
理工学研究科自己点検・評価委員会  
担当部署/担当者: 学務課(相)  
評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会		年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会		年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【学部】 第17回教授会議題・議事録等 責任主体:教授会 2018年3月8日	なし	年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 研究科教授会議事録  【博士後期・一貫制】 大学院学位規則第3章 博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会 議事録	第18回研究科教授会 2018年3月8日  第4回理工学研究科博士後期課程委員会 2018年2月16日  第2回大学院委員会 2018年3月11日	年度末

社会情報学部・社会情報学研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者： 学務課(相)  
 評価基準： 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 { 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 }	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 { 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 }	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○			年度末
	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○			年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/6/4)		年度初め
	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017/6/4)		年度初め

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者： 学務課(相)  
 評価基準： 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 〔資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入〕	チェック 可能時期
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的な学位論文審査基準が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め
	4-4-3M	【修士・博士前期】 学位授与にあたり、特定課題を課している課程については(※)、その具体的な審査基準を設け、大学院要覧等であらかじめ学生に明示していますか。  ※特定課題による学位授与を行っていない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017.4.29 )		年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士博士】 博士後期課程・一貫制博士博士課程を最長在学年限内に退学した者に対し学位を授与する場合、大学院学位規則第8条3項の規定に則り行われましたか。	2017	○		該当者なし	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 社会情報学部自己点検・評価委員会  
 社会情報学研究科自己点検・評価委員会  
 担当部署/担当者： 学務課(相)  
 評価基準： 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての学 科、専攻(課 程)ができて ○	共通で用いる根拠資料 { 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 }	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 { 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入 }	チェック 可能時期
(5)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	なし	年度初め
	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【修士・博士前期】 大学院学則第69条第1項第2号 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	なし	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【学部】 第21回教授会議題・議事録等 責任主体:教授会	なし	年度末
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【修士・博士前期】 第15回研究科教授会議題・議事録等 責任主体:研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 第6回議題・議事録等 責任主体:博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	第15回 教授会記録(2018.03.08)  第6回 教授会記録(2017.02.12)	年度末

地球社会共生学部

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 地球社会共生学部自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務課(相)

評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入	チェック 可能時期
(1)	4-4-1U	【学部】 学部において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○		英語の試験(TOEICスコア)で学生の学習成果を測定した。	年度末
(2)	4-4-2U	【学部】 卒業の具体的な要件が授業要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【学部】 大学ホームページ「授業要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/</a> 確認日:(2017/04/22)		年度初め
(3)	4-4-5U1	【学部】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【学部】 大学学則第13条第4項第2号 責任主体:教授会	なし	年度初め
	4-4-5U2	【学部】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	×	【学部】 第●回教授会議議事録等 責任主体:教授会	なし	年度末

国際マネジメント研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。 ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○	【研究科】 2018年度第3回教授会議議事録	【研究科】 2018年度第2回国際マネジメント研究科教授会議事録 委任に関する申し合わせ等 :2018年5月23日付承認 左記検証会議体からの委任先 :(国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会)	年度末
(2)	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	研究科2017年度授業要覧 MBA Programs 研究科2017年度授業要覧 PhD/DBA Programs	年度初め
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的な学位論文審査基準が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。 ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 ( 2017年度 ) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 2017/5/31 )	研究科2017年度授業要覧 MBA Programs, 研究科 2017年度授業要覧 Ph.D/DBA Programs	年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士】 博士後期課程・一貫制博士課程を最長在学年限内に退学した者に対し学位を授与する場合、大学院学位規則第8条3項の規定に則り行われましたか。	2017	×		該当者なし	年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 国際マネジメント研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第2号 責任主体: 研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 大学院学位規則第3章 責任主体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	研究科2017年度授業要覧 MBA Programs 研究科2017年度授業要覧 PhD/DBA Programs	年度初め
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【専門職】 第3回研究科教授会議題・議事録等 責任主体: 研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 第3回研究科教授会議題・議事録等 責任主体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士論文審査委員会	研究科2017年度授業要覧 MBA Programs 研究科2017年度授業要覧 PhD/DBA Programs 2015年度第2回、2016年度第6回・第8回・第9回博士課程委員会で議論	年度末

# 法務研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 法務研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部専門職大学院教務課

評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	○		青山学院大学大学院法務研究科FD規程 教育改善研究会議事録	年度末
(2)	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:( 6/5 )	法務研究科ホームページ <a href="http://www.law.aoyama.ac.jp/curriculum/index.html">http://www.law.aoyama.ac.jp/curriculum/index.html</a>	年度初め
(4)	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続きの明文化が図られていますか。	2017	○	【専門職】 専門職大学院学則第56条第1項第2号 責任主体:研究科教授会		年度初め
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手続きに従って授与されましたか。	2017	○	【専門職】 第18回研究科教授会議題・議事録等 責任主体:研究科教授会		年度末

会計プロフェッション研究科

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1G	【研究科】 研究科(課程ごと)において、学生の学習成果を測定するための評価指標の開発に努めましたか。  ※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連していること。	2017	×			年度末
(2)	4-4-2G	【研究科】 修了の具体的な要件が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月22日) 「2017年度大学院要覧」8-9ページ、31ページ 「研究科案内2016」5ページ		年度初め
(3)	4-4-3G	【研究科】 学位授与にあたり論文審査を行う場合、具体的な学位論文審査基準が大学院要覧等によってあらかじめ学生に示されていますか。  ※論文審査を行わない場合は、便宜上「○」とし、備考欄にその旨記載してください。	2017	○	【研究科】 大学ホームページ「大学院要覧(履修ガイド)」 (2017年度) <a href="http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html">http://www.aoyama.ac.jp/faculty/study_guide/graduate.html</a> 確認日:(2017年5月22日) 「2017年度大学院要覧」18ページ、28ページ		年度初め
(4)	4-4-4D	【博士後期・一貫制博士】 博士後期課程・一貫制博士課程を最長在学年限内に退学した者に対し学位を授与する場合、大学院学位規則第8条3項の規定に則り行われましたか。	2017	○	該当者がいないため、回答不可		年度末

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会: 会計プロフェッション研究科自己点検・評価委員会

担当部署/担当者: 学務部

評価基準: 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(5)	4-4-5G1	【研究科】 学位授与にあたり、責任体制の明確化と手続き の明文化が図られていますか。	2017	○	【専門職】 青山学院大学専門職大学院学則第56条第1項第2号 責任主体: 研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 青山学院大学大学院学位規則第3章 責任主体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士 論文審査委員会		年度初め
	4-4-5G2	【研究科】 学位は明確な責任体制のもとで明文化された手 続きに従って授与されましたか。	2017	○	【専門職】 青山学院大学専門職大学院学則第56条第1項第2号 2017年度第17回研究科教授会協議事項1 責任主体: 研究科教授会  【博士後期・一貫制博士】 青山学院大学大学院学位規則第3章 責任主体: 博士後期課程委員会/博士課程委員会、博士 論文審査委員会		年度末

青山スタンダード教育機構

自己点検・評価チェックリスト

担当委員会： 青山スタンダード教育機構

担当部署/担当者： 学務部

評価基準： 4-4(教育内容・方法・成果\_\_成果)

SQ	整理番号	チェック項目	年度	評価 ※すべての 学科、専攻 (課程)がで きて○	共通で用いる根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェックリスト担当部局 オリジナルの根拠資料 (資料年度・URL・ウェブ確認日 ・会議開催日 等を記入)	チェック 可能時期
(1)	4-4-1A	<p>【青スタ】 青山スタンダード科目において、学生の学習成 果を測定するための評価指標の開発に努めまし たか。</p> <p>※ディプロマポリシーに掲げる内容に関連してい ること。</p>	2017	×			年度末